

パキスタン  
教育テレビ拡充計画  
事前調査団報告書

平成5年7月

国際協力事業団



JICA LIBRARY



1111870101



国際協力事業団

26074

パキスタン  
教育テレビ拡充計画  
事前調査団報告書

平成5年7月

国際協力事業団



## 序 文

パキスタン国政府は、第7次5か年計画（1988～1993）において、草の根レベルの大衆に対する社会教育を重点政策としてかけ、その一環として教育テレビの開設を計画し、わが国に無償資金協力を要請してきた。

これを受けてわが国は1989、90両年度にわたり無償資金協力（機材を含め約34億円）を実施し、教育テレビ（ETV）センター、地方16局の衛星受信及び地上波送信局の設置に協力し、その結果1992年11月に教育テレビ放送が開始された。

それに先立つ1992年1月7日、パキスタン政府は教育テレビ関係職員の訓練が急務として、プロジェクト方式技術協力に係る要請書をわが国に提出している。

今般、当事業団は、要請の内容を具体的に確認するとともに、プロジェクト方式技術協力の実施の是非を検討することを目的として、平成5年5月24日から6月1日までの9日間、郵政省放送行政局衛星放送課ハイビジョン推進室課長補佐 福田早千夫氏を団長とする事前調査団を派遣した。

本報告書は、同事前調査団の現地における調査、協議結果について取りまとめたものである。

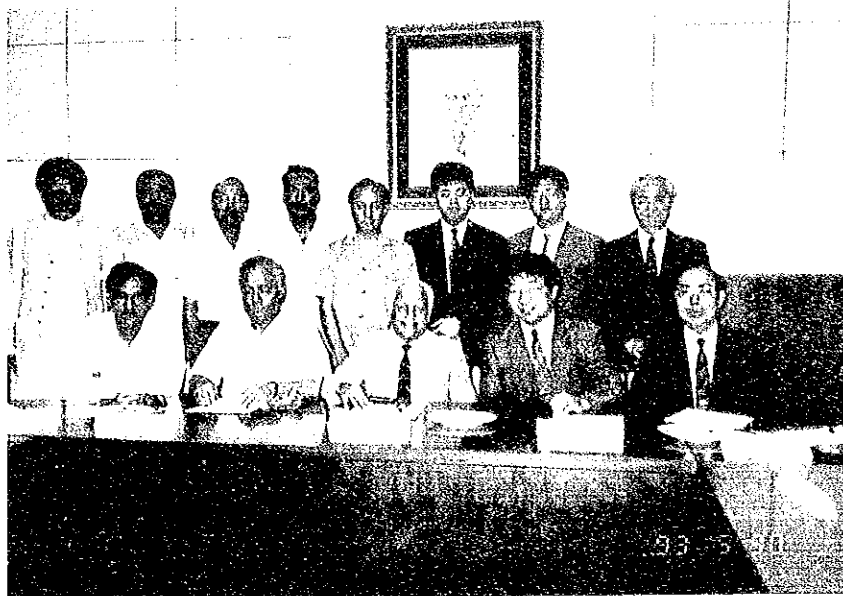
終わりに、今回の調査の任に当たられた調査団員各位並びにご協力いただいた外務省、郵政省、日本放送協会及び在パキスタン日本大使館、その他関係機関の方々に対し、深甚の謝意を表すると共に、今後のご支援をお願いする次第である。

平成5年7月

国際協力事業団  
社会開発協力部  
部長 石崎光夫







ミニッツ署名 (PTV)

前列中央：Fazal Kamaal 氏 (Director, PTV-2)  
前列右から萩原団員、福田団長  
後列右より須山団員、今野団員、宮森団員



ETV (主調整室) 視察



# 目 次

序 文

写 真

1. 事前調査団の派遣 .....	1
1-1 要請の背景と経緯 .....	1
1-2 調査団の構成 .....	1
1-3 調査日程 .....	3
1-4 主要面談者 .....	4
1-5 要請の内容 .....	5
1-6 調査団の目的と対処方針 .....	5
2. 調査結果 .....	7
2-1 パキスタンのテレビ放送の現状 .....	7
2-2 PTV-2 (ETV) の運営状況 .....	16
2-3 PTV-2 (ETV)、関連諸機関の制作技術 .....	16
2-4 PTV-2 (ETV)、関連諸機関の番組制作レベル .....	18
3. 調査団提言 .....	25
3-1 総括的提言 .....	25
3-2 運営体制 .....	26
3-3 制作技術 .....	27
3-4 番組制作レベル .....	27
4. 署名済ミニッツ .....	29
付属資料 .....	31
① プロジェクト方式技術協力に係る要請書 .....	37
② 質問票とその回答 .....	43



## 1. 事前調査団の派遣

### 1-1 要請の背景と経緯

パキスタン国では識字率が低く(26.2%、1989年、農村部の女性は10%以下)、適切な教育がなされなければ、高い人口増加率(年3.1%、'80-'89平均)のために非識字者の増加が危惧されている。また、乳児死亡率が高く(108/1000、1988年、先進国は10/1000以下)、死亡原因の8割近くが感染症・寄生虫・マラリアであることなど、保健指標は国際的に低水準にある。この原因の一つとして衛生知識の普及が不十分であることが挙げられている。

そのため草の根レベルの大衆に対して保健、衛生、家族計画などの知識を与え、社会職業的な教育を行って、大衆の生活レベルの向上を計ることが、パキスタン国政府による第7次5か年計画(1988~93年)の最優先課題の一つになっている。

この計画の具体化のためパキスタン政府は、教員不足や山岳・砂漠を抱えた広い国土などを鑑みた上で最も効率のよいと思われる教育テレビの設立を計画し、1988年6月、わが国に本計画に対する開発調査の実施を要請してきた。

これを受けてわが国は同年9月事前調査団を派遣し本件調査に関するS/Wを締結した。その後本格調査が1989年1月より開始され、同年6月には、パキスタン国が実施する教育テレビ設立計画の5か年計画のうち初期2年計画が日本国政府による無償資金協力によって実施されるとした場合の双方の工事区分等の規定について協議し、議事録に署名した。

1989~1991年には無償資金協力が実施され、ETVセンター、スタジオ設備、各地に衛星受信及び地上波送信装置(16局)が完成した。この設備により1992年11月26日、一日6時間の本放送が開始された。

本放送開始に先立つ1992年1月7日、パキスタン政府は教育テレビの更なる拡充のためのソフト・ハード両面で技術協力をわが国に要請し、これを受けて本事前調査団の派遣となったものである。

### 1-2 調査団員の構成

Leader

<sup>ふくだ</sup>福田 <sup>さちお</sup>早千夫 (総括) 郵政省 放送行政局 衛星放送課 ハイビジョン推進室 課長  
Sachio FUKUDA 補佐

Deputy Director,  
HDTV Promotion Office, Satellite Broadcasting Division,  
Broadcasting Bureau,  
Ministry of Posts and Telecommunication

#### Cooperation Planning

みやもり じょうじ  
宮森 丈治 (協力企画)

外務省 経済協力局技術協力課 外務事務官

Joji MIYAMORI

Official,

Technical Cooperation Division, Economic Cooperation  
Bureau, Ministry of Foreign Affairs

#### Television Engineering

はぎわら きよくに  
萩原 清邦 (制作技術)

日本放送協会 (NHK) 海外企画局 (海外渉外) 副部長

Kiyokuni HAGIWARA

Manager,

International Relations

Japan Broadcasting Corporation (NHK)

#### Television Programme Production

すやま まさひろ  
須山 正広 (番組制作)

日本放送協会 (NHK) 学校放送番組プロダクション チーフ・

Masahiro SUYAMA

ディレクター

Senior Director,

School Broadcasts Production

Japan Broadcasting Corporation (NHK)

#### Coordinator

こんの きみひろ  
今野 公博 (業務調整)

国際協力事業団 社会開発協力部 社会開発協力第一課 ジュ

Kimihiro KONNO

ニア専門員

Associate Specialist, First Technical Cooperation Division,

Social Development Cooperation Department,

Japan International Cooperation Agency (JICA)

1-3 調査日程

日順	月 日	曜日	移動および業務
1	5月24日	月	成田発 PK751 (11:55) →イスラマバード着 (20:30)
2	25日	火	午前 JICA 事務所訪問、打合わせ 経済省 (EAD) 表敬 午後 情報放送省表敬 日本大使館表敬
3	26日	水	午前 教育テレビ (ETV) センター表敬、視察 PTV アカデミー視察 パキスタンテレビ公社 (PTV) 表敬、協議
4	27日	木	午前 アラマ・イクバル公開大学視察 午後 PTV 視察 団内打合わせ (JICA 事務所)
5	28日	金	午前、午後 PTV、ETV 送信所視察 (イスラマバードから 50km程離れたマリー (標高2400m) に位置) 夜 団内打合わせ、ミニッツ案の最終検討
6	29日	土	PTV にてミニッツ案協議
7	30日	日	午前 ミニッツ署名 (PTV) JICA 事務所へ報告 午後 日本大使館、経済省 (EAD) へ報告
8	31日	月	イスラマバード発 PK778 (9:30) →バンコク着 (18:30)
9	6月1日	火	バンコク発 (CX750、CX500) →成田着 (21:30)

#### 1-4 主要面談者

在パキスタン日本国大使館

赤沢正人 公使

田野井雅彦 一等書記官

JICA パキスタン事務所

御手洗章弘 所長

新垣和成 次長

岩崎薫 所員

経済省 (Economic Affairs Division, EAD)

Farhat Hussain, Joint Secretary

情報放送省 (Ministry of Information and Broadcasting)

Ahmad Sadiq, Secretary

パキスタンテレビ公社 (Pakistan Television Corporation Limited, PTV)

M. Ehsanul-Haq Khilji, Acting Managing Director, PTV

Jamil Ahmad, Controller Administration, PTV

Akhtar Mahmood Dad, Director Engineering, PTV

Iqbal Hussain, Controller Finance, PTV

Mazhar Hussain, Deputy Controller Finance, PTV

Fazal Kamal, Director, PTV-2

Shaukab Parvez, Controller, PTV-2

Ishrat A. Ansari, General Manager, PTV-2

PTV アカデミー

Shahab Noorani, Controller Engineering

Zaman Ali Khan, Director PTV Academy, Director Programmes

アラマ・イクバル公開大学 (Allama Iqbal Open University, AIU)

Muhammad Tariq Siddiqi, Vice-Chancellor

A. J. Kazi, Director, Institute of Educational Technology



### 1-5 要請の内容

パキスタンでは1967年にパキスタン・テレビ公社 (PTV) が設立され、最初のテレビ放送が開始された。その後、教育テレビ設立の必要性が高まり、日本政府は協力要請を受けて1989、90両年度にわたり総額約34億円の無償資金協力を行った。この協力はテレビスタジオの建設、番組制作機器、衛星伝送用機器等の供与という大規模なもので、教育テレビ (ETV) の発足に大いに寄与した。ETV は PTV の 1 部局の位置付けで、1992年11月から放送を開始した。

現在 PTV は 1 日約10時間、ETV は約 6 時間放送を行っている。PTV は一般番組がたてこんでいて、教育番組に時間をさくゆとりがない。しかしパキスタンの民衆の識字率向上のためにも、また保健・衛生・農業・人口家族問題・手工芸・家内工業などの各分野に情報を与え、教育を徹底するためにも、教育テレビの普及、発展は重要である。ETV が現在の 6 時間の放送時間を拡大するのなら、ソフト分野の開発など技術力を高めることは必要不可欠で、このためには各専門分野のスタッフを訓練する必要がある。

本要請は ETV 放送が開始される前の1992年 1 月に出示されたものだが、教育テレビは日本の援助も関係して開始されることもあり、更なる充実のため日本にプロジェクト方式技術協力を求めると述べられている。

要請の内容は、協力期間 3 年の間に教育番組制作及び放送技術の分野における幅広い技術移転を求めるとなっている。

具体的には、日本から

プロデューサー	1 名	任期	2 年間
技術者	1 名	任期	2 年間
技術者	1 名	任期	1 年間

の専門家の派遣と、ETV の各分野のスタッフ約30名を 2～10週間にわたり日本で研修させることと、パキスタン人スタッフの訓練用及び派遣専門家の活動に必要なとする機材の供与、を要請してきたものである。

### 1-6 調査団の目的と対処方針

本調査は

- ① 要請の内容及び背景を確認する。
- ② 無償資金協力による機材・施設の活用状況等を調査し、技術協力の可能性があるのかどうか見極める。

を目的とし、以下のような対処方針をもって実施された。

① 本調査は1992年1月7日に提出のあった、パキスタン国教育テレビ拡充計画に対するプロ技協要請の内容及び背景について調査し、今後のプロ技協実施の可能性を検討することを目的とするが、協議及びミニッツ作成にあたっては、パキスタン側の計画及び考え方を聴取することを中心とし、日本側の今後の協力の可否及び対応方針については、極力言及しない事とする。

要請内容に変更がある場合については、新たな要請の内容について、先方の考え方を十分調査する事とし、その内容をミニッツに記載する。

② 特に、1989、90両年度にわたって実施された無償資金協力の後、パキスタンにおける教育テレビが既に開局され、衛星を使った放送が既に行われており、プロ技協を受け入れることで、いかなる問題点の改善を図ろうとしているのか、またプロ技協が実施されない場合、どのような問題を生ずることになるのかについてなど、プロ技協の必要性及び緊急性について調査する。

③ ミニッツは上記1に留意し、パキスタン側の要請内容を中心に記載する事とする。

④ 帰国後、以下の事項について報告し、総括的提言を行う。

ア. 要請書の変更の有無

イ. 本プロジェクトの必要性・開発計画の中の位置付け

ウ. 要請されているプロジェクトの具体的な内容

エ. パキスタン側の実施体制

オ. プロジェクト方式技術協力の実施の可能性及び妥当性

カ. プロ技の実施が困難である場合のその他協力の可能性

## 2. 調査結果

### 2-1 パキスタンのテレビ放送の現状

テレビ局は下記の3局があり、このほか西部（ラホール地区）ではインドのテレビ局が、また衛星放送も聴取できる。

#### 2-1-1 PTV (Pakistan Television Corporation Limited)

1964年11月、テレビ実験放送が情報放送省の下で開設され、1965年本放送を開始した。（持株率は政府60%、日本電機（NEC）30%、トムソン（フランス）10%）その後、1967年5月、政府が全株式を買取り、PTVが設立され、1967年にはカラーテレビ放送を開始し、現在に至っている。

1989年現在、職員数約5,000人、国土の36%、人口の86%を占めるカバレッジを持ち（図表-1参照）、27の送信所から1日約10時間（金曜日は約14時間）の放送をウルドゥ語、英語を中心に放送を行っている。視聴者数は約1,200万人と見積もられている。

本部はイスラマバードにあり、テレビセンターがイスラマバード、カラチ、ラホール、クエッタ、ペシャワールにあり各センターで番組を制作している。（図表-1参照）周波数は、地方も含めて全てVHFを使用している。1991パキスタン年度（1990年7月～1991年6月）の予算は収入が778,754,982ルピー（約39億円）でその内訳は広告が64%、受信料が24%等で黒字運営を続けている。番組内容は、ニュース、劇、映画、スポーツ、討論、時事問題、コーラン等である。（番組表は図表-2、3参照）

#### 2-1-2 PTV-2 (ETV) (Educational Television)

1990、1991年、日本の無償資金協力によりETVセンターが設立され、1992年11月26日、本放送を開始した。予算・人員ともPTVから出ているが将来構想としては完全に独立する予定である。

1993年現在、職員数約300人、イスラマバードにスタジオを持ち、地方に16局の衛星受信・地上波（VHF、イスラマバード、ラホールはUHF）送信局を持ち人口の56%をカバーしている。（図表-4参照）放送時間は1日6時間程度で、ウルドゥ語を中心に教育、ニュース、スポーツ番組を放送している。（番組表は図表-5、6参照）

今後の計画として、ラホール、カラチ、クエッタにスタジオを建設し、衛星受信・地上波送信局を28局増設し、人口カバレッジを95%にする予定である。（図表-7）。

#### 2-1-3 STN (Shalimar TV Network)

1992年放送を開始した政府系のテレビ局で、PTVがその株の一部を保有している。

イスラマバード、ラホール、カラチに送信所を持ち VHF で放送している。

(番組表は図表—6 参照)

#### 2—1—4 衛星放送

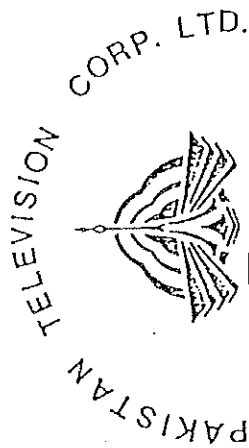
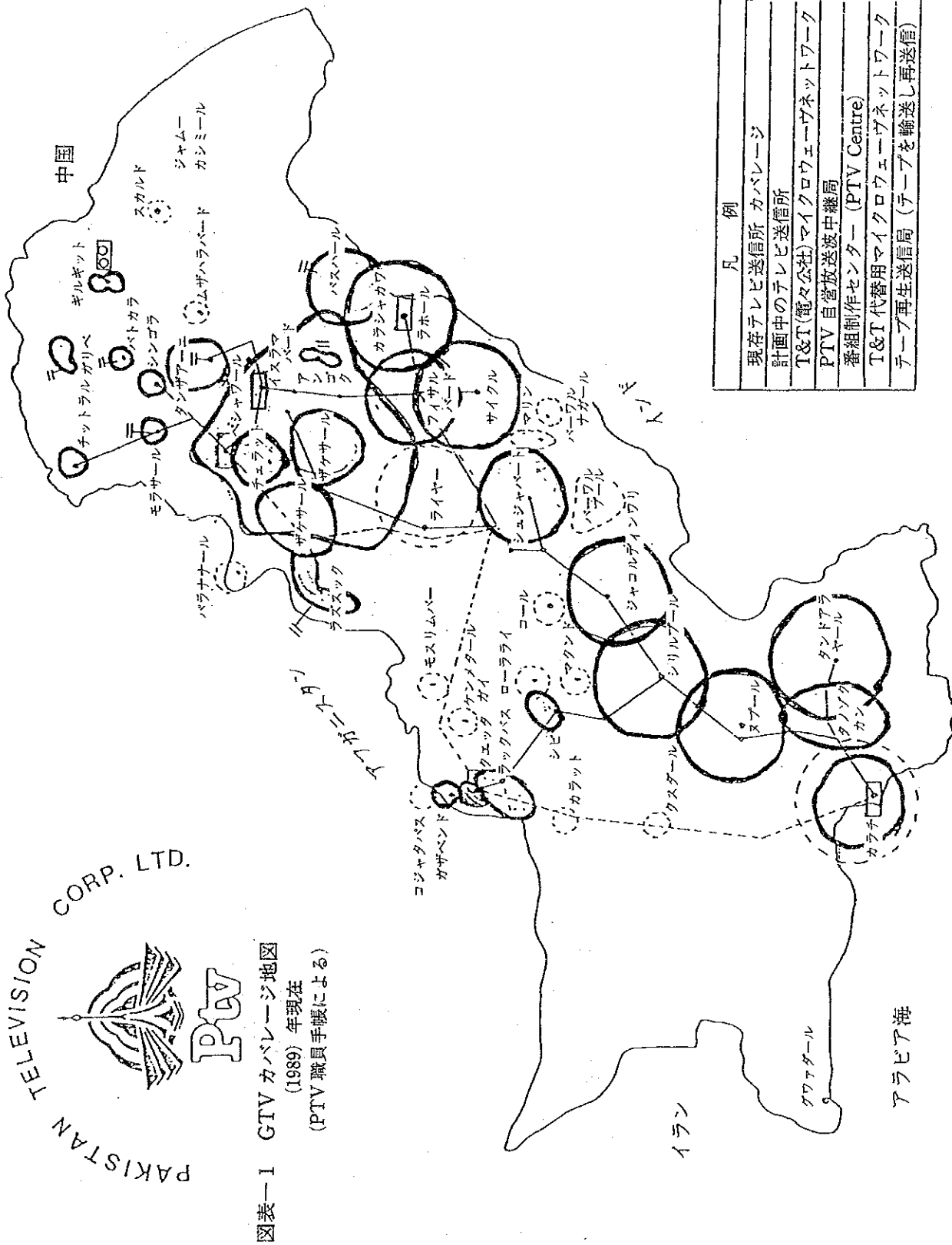
アジアサットの西ビームで放送されているスター TV (5 チャンネル) が良好に受信できる。また、PTV—2 の衛星から直接受信できる。その他アラビア、インド向け放送も受信できる。

#### 2—1—5 受像機

白黒テレビの値段が国民の平均月収とほぼ同じであり、U—V コンバーター、UHF アンテナが安価であるため、PTV、STN (すべて VHF を使用) はもとより PTV—2 (イスラマバード、ラホールのみ UHF) の受信に関しても経済的に難しくないとと思われる。

受信料契約台数は、1,600,000 台であるが、未登録台数がかなりあると思われる。

図表-1 PTV の全国放送網



図表-1 GTV カバレッジ地図  
(1989) 年現在  
(PTV 職員手帳による)

凡 例	
現存テレビ送信所 カバレッジ	●
計画中のテレビ送信所	○
T&T(電々公社)マイクロウェーブネットワーク	■
PTV 自営放送波中継局	□
番組制作センター (PTV Centre)	▭
T&T 代替用マイクロウェーブネットワーク	▭
テープ再生送信局 (テープを輸送し再送信)	▭

図表—2 PTV 1日の放送時刻表 (1993年5月25日)

7:00—9:00	Bismillah, Baseerat	お祈りの時間、身体障害者のためのリハビリ番組、ウルドゥ語入門、スポーツニュース、歌番組、パキスタン関連ドキュメンタリーほか
9:00—15:00	放送無し (金曜日は休日のため14:00までクリケット、ホッケーなどのスポーツ番組中継)	
15:00—	Basmillah, Baseerat	お祈りの時間
15:10—	Al-Qur'aan	コーラン
15:20—	Babar	歴史ドラマ
16:10—	Sub Rang Hamaray	音楽番組
16:35—	Harry And Handerson	アニメーション番組
16:50—	Cartoon	アニメーション番組
17:00—	Al-Akhbar	ニュース (アラビア語)
17:10—	Sports Special	スポーツニュース
17:35—	TV Encyclopaedia	テレビ百科
18:00—	Khabrain	ローカルニュース
18:10—	Choat	チョウト (ウルドゥ語劇)
18:35—	Fehmul Qur'aan	イスラム教教育
19:00—	News	ニュース (英語)
19:20—	Family'93	新作ドラマ (ウルドゥ語)
19:50—	Mulaqat	インタビュー番組
21:00—	Khabarmama	ニュース (ウルドゥ語)
21:35—	Tijarti Khabrain	貿易関連ニュース、為替レート
21:45—	Recording of Zahid Sarfraz's Press Conference	ニュース特番
22:35—	Tele Theatre	長時間ドラマ
24:05—	Khas Khas Khabrain	今日の出来事 (ウルドゥ語)
24:10—	Faman-e-Ilahi	コーラン
24:20—	Close Down	番組終了



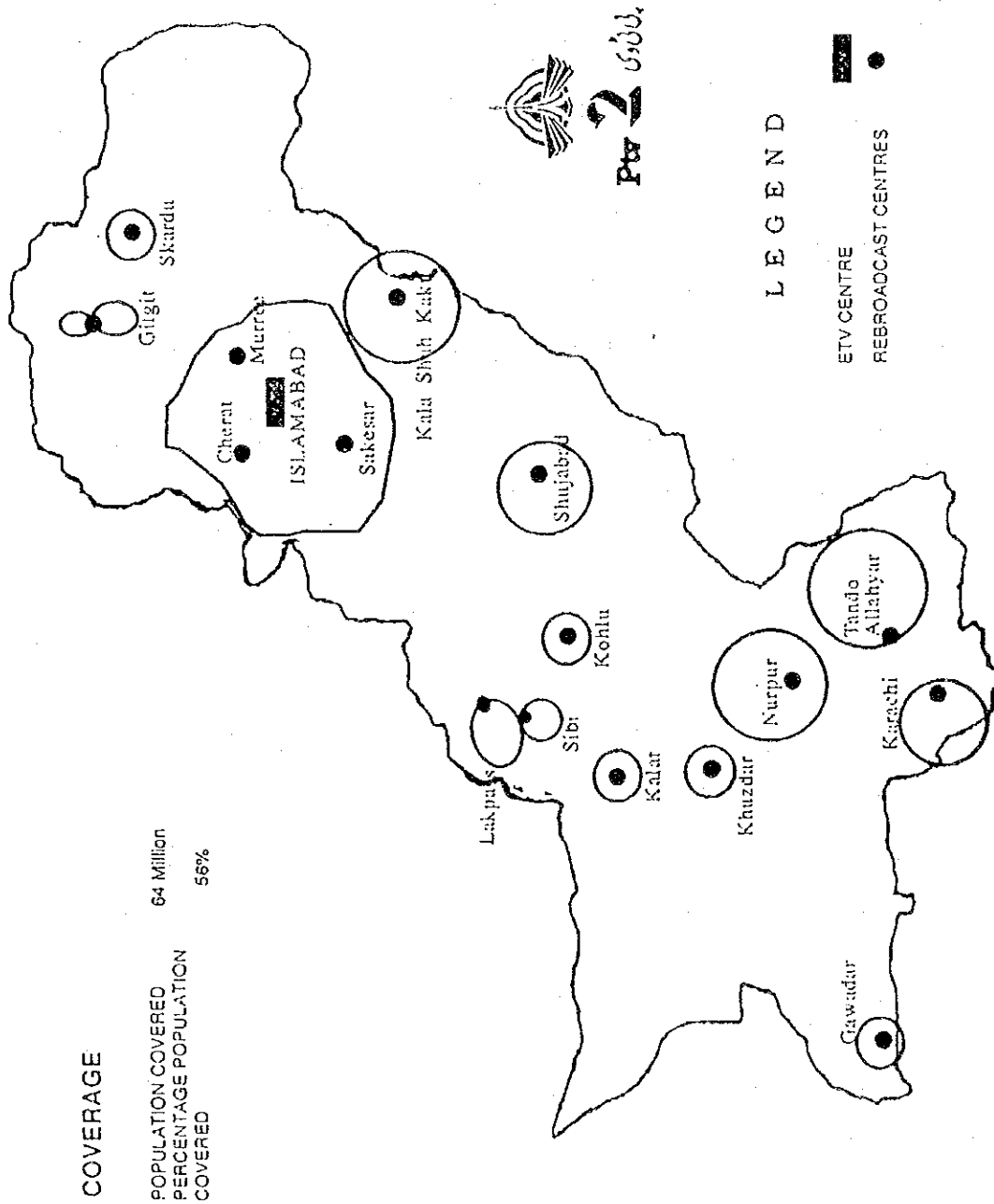
A scene from Family '93. Tonight at 7.35.

図表-3 PTV の週間放送番組表 (1989年1月~3月)

〈1989年4月〉

AM	金	土	日	月	火	水	木
7:00	7:00 <お祈り> 番組の開始						
7:02	7:02 短い風景フィルムや漫画、ニュースと あと対談などモーニングショウ (ワイド番組)						
8:15							
9:00							
9:25	AIOU アラマイクバル公開大学番組 (アラマイクバルは国民詩人の名前)						
金曜日は休日のため、クリケット・ホッケーなどスポーツ、ナマ中継あり							
PM							
4:05	教育番組 (自然環境保護、就学前の児童対象の読み書きなど) 4月以降開始						
4:30	ビスミラー (回教寺院やスタジオからの コーラン朗誦番組)				漫画 (子供向け)		
5:00	ウルドゥ語による全国ローカルニュース						
	コーラン朗誦番組						
	アニメーション、漫画						
6:00	ウルドゥ語ニュース						
	コーランの 解説	「エンサイク ロペディア」 百科辞典的な 世界の話	こどもの ゲーム 紹介プロ	ギネスブック の話題 (イギリス制作)	テレビクリ ニック 医学番組	イスラム世界 の歴史の話	コメディ (英米プロ)
7:00	英語ニュース						
	英、米、西独など のドキュメン タリーフィルム	音楽番組 (歌と踊り) (カラチ局)	コメディ (英米連続もの)	クイズ 子供、学生参加 (ラホール局)	ステージ SHOW (カラチ局)	英米のドキュ メンタリー	ドラマ
8:00	ドラマ (カラチ局)	音楽 (イスラマバード 局)	各種音楽番組		民族音楽劇 (ラホール局)	ドラマ& コメディ (カラチ局)	クイズ番組 (カラチ局)
9:00	ウルドゥ語ニュース						
	英語 (BBC) 米 制作のドキュ メンタリー 自然ものなど	米英のテレビ ドラマ (英語版)	米英の 音楽もの ワンマンショ ウなど	週間 スペシャル 番組	BBC など イギリス制作 の大型コメ ディドラマ	大学生対抗の クイズ	書 評
10:00						歌もの	PTV スペシャル
10:50	カレント トピックス (話題もの)						
11:00	ウルドゥ語の1日のニュース						
	終了番組						
11:30							

図表-4 教育テレビ (ETV) の全国放送網





図表-5 ETV 週間放送時刻表

	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
5:15	番組案内						
5:20	(ETV制作) ビスミラー・コーラン朗詠番組						
5:30	(調達番組)			登山家			
	オーデュボンの世界(英語)	自然探検家(英語)	河川・宇宙(英語)	恐竜時代(英語)	化学/登山家ヒラリー(英語)	スポーツ(英語)	野生動物の王国(英語)
6:30	子供のための音楽番組(カラチ発)	子供のためのドラマ(ラホール発)	子供のための音楽番組(ラホール発)	人形劇(イスラマバード発)	子供のための音楽番組(カラチ発)	子供のための音楽番組(ラホール発)	子供のための音楽番組(イスラマバード発)
6:55	アラビア語ニュース						
7:00	英語ニュース (PTV ニュースを生受け)						
7:15	(ETV制作番組)						
	保健衛生番組(イスラマバード発)	コンピューター番組(ラホール発)	ビジネスニュース(カラチ発)	農業番組(ラホール発)	インタビュー番組(イスラマバード発)	医学番組(イスラマバード発)	最新情報番組(イスラマバード発)
7:45	ローカル言語番組						カスターブリッジの市長(英国民話)(英語)
	フンジャビ語	バロチ語	バシト語	ブラハビ語	ヒンドコ語	シンデイ語	
8:30	アラマイクバル公開大学						
9:00	ウルドゥ語ニュース (PTV ニュースを生受け)						
9:30	ドラマ(ラホール発)	ドラマ(ベシヤワール発)	ドラマ(クエック発)	ドラマ(カラチ発)	ドラマ(イスラマバード発)	ドラマ(ラホール発)	ドラマ(カラチ発)
10:20	イスラムの世界	イスラムの世界	パキスタン今日の動き	最新経済情報	パキスタン紹介	コーランへの質問	カレントトピックス
10:45	明日の番組から						
10:50	国歌・番組終了						

図表－6 ETV 1日の放送時刻表（1993年5月25日）

17:00-	Bismillah	お祈り
17:10-	Hamara Qaeda	識字教育番組
17:30-	AIOU Courses	アラマイクバル公開大学
18:00-	Jouneys to the Art	調達番組（英語）
18:30-	Secrets & Mysteries	調達番組（英語）
19:00-	The News	英語ニュース（PTV 生受け）
19:15-	AIOU Courses	アラマイクバル公開大学
19:40-	Sahar	劇（ウルドウ語）
20:20-	Mitti Sona	農業番組
21:00-	Khabarmama	今日の出来事（ウルドウ語 PTV 生受け）
21:30-	Silsila	ドラマ（PTV 制作再放送）
22:15-	Dhanak	音楽番組
22:45-	Rim Jhim	音楽番組
23:05-	Roz-o-Shab	カレントトピックス
23:25-	Close Down	国歌・番組終了

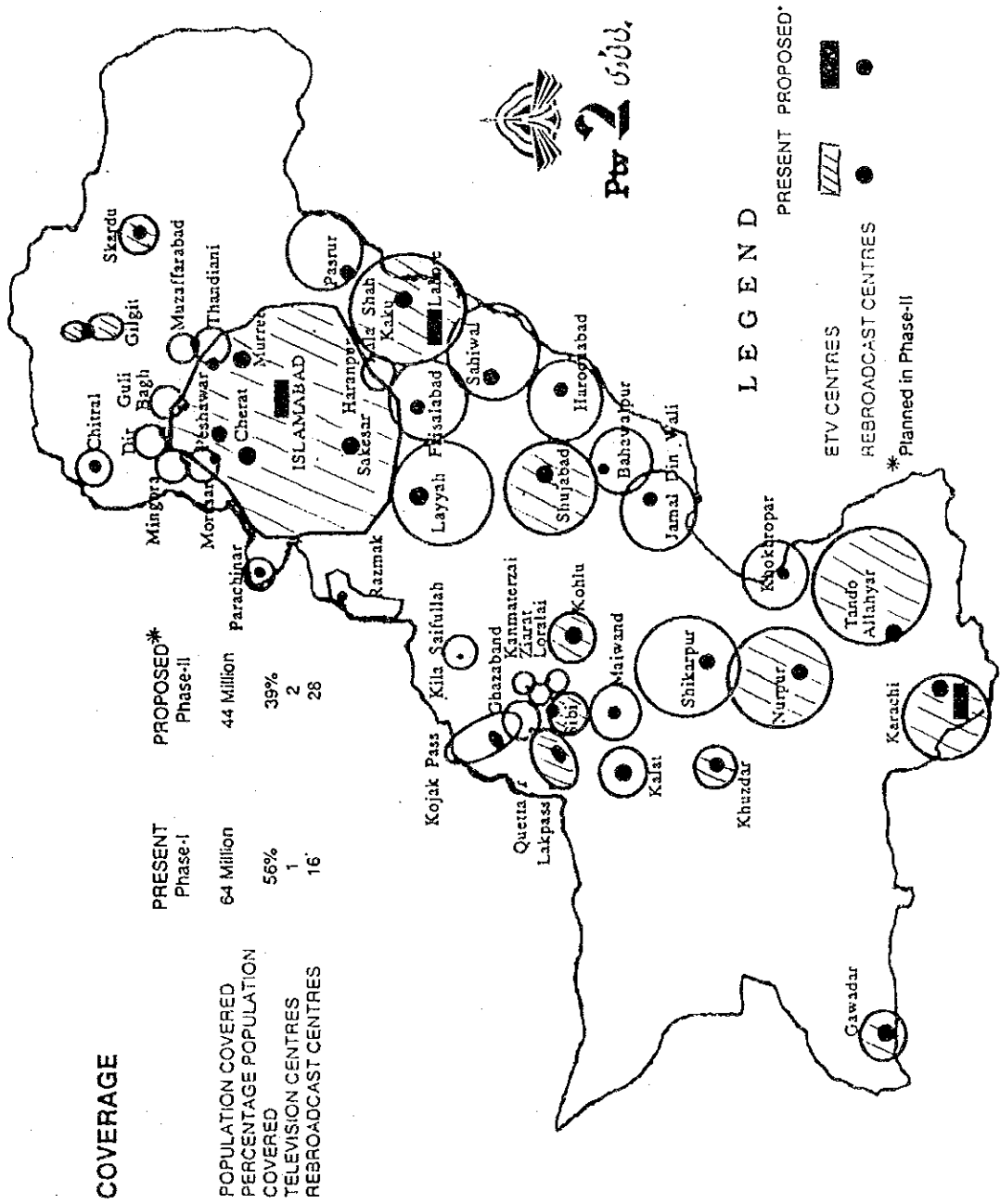
民放・Shalimar TV Network（1993年5月25日）

—19:00 CNN 放送

19:00-	Bismillah	お祈り
19:04-	Laural & Hardy (Cartoon)	CNN より
19:30-	Charlie Chaplin (Comedy)	CNN より
20:00-	Fankar Gali (Urdu Drama)	ドラマ（ウルドウ語）
21:00-	Khabarmama	ニュース（ウルドウ語 PTV 生受け）
21:30-	Son of Undata (Urdu Film)	ウルドウ語映画

\*地上波放送。首都周辺で視聴可能。無料。商業放送局。従来はCNNを生受けしていたが、現在は、時間差出し。番組ソフトのおもしろさの差で、パキスタン国内でもっとも人気があるテレビ放送局。民間CMの希望は、PTVをはるかに上まる。

図表-7 教育テレビ (ETV) による将来の全国放送網



## 2-2 ETVの運営状況

### 2-2-1 組織

PTVの一部局でETVのDirectorはPTVのGeneral Manager（最高責任者）の下につきProgramme Manager, Head Current Affairs, Senior News Editor, Engineering Manager, Finance Manager, Admin. & Personnel Managerと同格にある。（PTVの組織図は質問表の70ページを参照のこと）

ETVのDirectorの下にGeneral Manager以下3人の幹部がいて、その下に同格にProgramme Manager, Head of Camera Facilities, Engineering Manager, Finance Manager, Admin. Managerがいる。（ETVの組織図は質問表の70ページを参照のこと）

### 2-2-2 予算

1992年3月16日から1992年6月30日までの予算を見ると、歳出の総額が77,956,800ルピー（約3.9億円）で内訳は運営維持費48%、減価償却費31%、給料8%、番組購入費4%、歳入は広告費のみで20,822,000ルピー（約1億円）となり、赤字分（約2.9億円）をPTVが補う形となっている。（詳細は質問表の68ページを参照のこと）

### 2-2-3 人員

現在の人員は300人でその内訳は幹部3人、番組制作95人、カメラ13人、技術43人、財政26人、管理部門73人、その他26人。将来は先ず第一段階として700人に増員する予定であるが、PTVから独立する際、一部の職員はPTVへ戻るため、間もなくテレビ局による職員のリクルートの禁止が解除されるというものの、PTVアカデミーの養成人数が需要に比べて少ないなどの理由で専門職部門でのリクルートが難しいと予想される。最終的には1,353人を必要人員としている。（詳細は質問表の70ページを参照のこと）

## 2-3 ETV・関係諸機関の制作設備

### 2-3-1 ETV

ETVにおける番組制作設備は、スタッフ数の不足から全設備がフルに稼動しているとは言いがたいが、全体に運用状況は良好である。

ETVの全体計画は前期2カ年、後期3カ年からなる5カ年計画であって、JICAの開発調査報告書によれば、前期計画が終わった現在のイスラマバードETVセンターの必要職員数は625人と算出している。

ETVによる自主番組制作時間数は、当初予定の約2分の1ないし3分の1と推測しても、現在の120人体制は極端な要員不足の状況である。

調査団が訪れた日、210㎡の A スタジオでは番組制作の準備中であったが、110㎡の B スタジオは使われた様子が見えなかった。しかし一方、放送局施設として不可欠のマスターコントロール室における番組運行設備及び番組の衛星中継用送信設備は毎日使用し、特に専門知識を必要とする衛星中継設備は、毎日の始業・終業点検と月 2 回の定期点検を実施し、放送局中枢機能の安定運用への配慮が感じられた。また、放送分野では最先端のコンピュータグラフィックス設備は、テレビ用のパターン作画体制の劣るパキスタンにおいては有効な設備の導入であり、ETV のベテランアーティストの手さばきはすばらしく、近々、自分のスタッフにも指導する計画があると抱負を語ってくれた。しかし、ポストプロダクション設備のうち 4 言語放送を行う音声ダビング設備と映像自動編集設備については、設備機能を使いこなす番組制作形態が現在はない。

### 2-3-2 PTV

番組制作設備に新旧の混在はあるが、使用不能の設備が散在する様子は見られない。30年の歴史を持つテレビ局であり、ニューススタジオ、ドラマスタジオの何れも良く使いこんでいる印象を受ける。PTV 制作のニュースは ETV にも供給され、ETV のネットワークを通じても全国に放送されている。

### 2-3-3 PTV アカデミー

PTV 及び民間テレビ局の職員訓練を行っている。

建物、設備等の維持管理は良好な印象を受けるが、放送局の技術者を育てるには少々機材不足である。技術知識のない者を対象に、基礎的な電気工学とスタジオ等における番組制作設備の操作を指導している。年間計画によれば24の研修コースと14のワークショップを運営しているが、研修用機材の少ないことから、多くのコースは座学が中心となっているものと思われる。研修用機材の充実が急務である。

### 2-3-4 AIOU (アラマイクバル公開大学)

現在使用している機材は極めて古いもので、画質と安定性のいずれもが劣っている。カメラは10年以上前、VTRの一部は20年前のものも使われている。

250コース、10万人の卒業生を持つ歴史と実績からは程遠い貧弱な設備である。早期の改善が望まれる。管理体制と指導目的が確立されていることから、将来、設備が更新された場合には画期的な改善が期待できる。

## 2-4 ETV・関係諸機関の番組制作レベル

### 2-4-1 ETV (PTV 2)

#### (1) ETV の放送

識字率30%のパキスタン国にとって国民の教育が最重要制作である。教育番組の制作放送を目的に設立されたETVでは、現在夕方5時から1日平均6時間30分の放送を行っている。放送番組の種類と放送時間は、識字学習番組や農業改良番組など各官庁が提供する教育、啓蒙番組とアラマイクバル公開大学(AIOU)の講座番組が約2時間、残りの4時間30分は、外国からの調達番組やPTV制作番組の再放送及びニュース番組である。ETVは、現在、1日の放送時間のうち1時間を自主制作しており、その内容は、お祈りの時間などの宗教番組、避妊や病気予防などの保健衛生番組、ウルドゥ語識字講座などの大人向け教育番組、そして番組予告などが主で、子供のための教科学習番組は含まれていない(ETV 1日の放送時刻表図表-6参照)。

ETVが当初計画した週間放送時刻表によると、自局制作番組は、イスラマバードETVセンターでのみ制作するのではなく、カラチ、ラホールなど各州都ETVセンターでも制作放送し、放送時間は2時間となっている。しかし、現状ではセンターがあるのはイスラマバードのみ、計画と現実とのギャップが大きい(ETV週間番組計画表図表-5参照)。

1989年、ETV放送会館建設にあたって、パキスタン国が提出した年度別ETV番組放送計画によると、1993年度にはアラマイクバル公開大学番組を1時間、ETVが新作する婦人向け、学生向け、農民向け教育番組や特集番組を計3時間、外国からの購入番組を1.5時間、そしてPTVからの再放送番組を含めたりピート番組を3.5時間、合計9時間、1日に放送する予定となっている(年度別放送時刻表資料-3参照)。しかし、現状は、前述の通りである。

ETVの放送計画が計画通りに進行しない主たる要因として考えられるは、その番組制作及び技術制作の要員不足である。

現在、ETVの職員は制作系、技術系、事務系を含め120人(うち制作系は20人)。すべての職員はPTVから派遣されている。ETVが自主制作番組を計画通りに実施するには、2年以内に200人に増員し、将来的には700人の要員を必要としている。

#### (2) ETV の自主制作番組

ETVにはTVスタジオが2室あるが、うち1室は要員不足などの理由で未使用である。調査団がスタジオを訪れた際、毎週土曜日放送の「やさしい算数」シリーズの収録が行われていた。このシリーズは、字が読めなかったり数が教えられない大人のための算数番組で、年間55本シリーズ。制作担当ディレクターは1人で、1日2番組を収録する。

番組出演者は、講師が1人。この日の番組テーマは、「数の教え方」。スタジオには、簡単な決まりものセット、1から9までの数字を書いたカードと小さな白色ブロックが準備され、講師はこれらカードとブロックを使って数字の読み方を指導していた。数字の読み方は英語だが、解説はすべてウルドゥ語で行われる。

1人のディレクターが年間50本以上教育番組制作を担当することは、日本と比較した場合はややハードであるが、東南アジア諸国では一般的な制作条件である。しかし、1番組にかけられる制作時間不足のため、番組演出形式はどうしても単純にならざるを得ない。しかし、国民の識字率をたかめようとしている制作者の意気込みは感じられた。

現在、ETVでスタジオ用のセットなどを設計、制作する美術制作要員は、4～5人である。ETV制作の番組は、今年度からの新作番組であるため、すべて新たにセットを作る必要がある。ETV制作のすべての番組セットをカバーするには美術スタッフの絶対数が不足しているのが現状である。必然的に屋外収録が多くなっている。

### (3) ETVのポストプロダクション

ETVのビデオ編集設備として、2室の編集室が用意されている。編集室①は、再生用・収録用のベータカム編集機が各1台ずつ設置され、編集室②には、ベータカム編集機1台とU-マチック編集機1台が配置されている。編集室②は、主としてAIOUの番組(マスターテープはU-マチック)を放送用のベータカムにダビングするためにのみ使用されている。

テレビスタジオ副調1室にコンピューターグラフィックが設置されているが、CG操作ができる技術者は、現在のところ1人である。操作の基本的なインプットを行っているのが現状で、番組演出に多様に活用できる段階には至っていない。オペレーターの話では、将来ウルドゥ語の文字を自由に描けるようにしたいとのことである。

## 2-4-2 PTV

PTVは30年の歴史があるだけに、新旧混在した機材をよく使い込んで、番組制作を行っている。ここでは既設機材をフル回転させてある程度のレベルに達した番組制作を行っていると評価できる。

PTVによるETV職員への教育番組制作技術指導の可能性だが、PTV職員の一部がETVへ移行している現状では、PTVで放送する番組制作で手一杯であり、ETVの仕事までカバーすることは難しい。

## 2-4-3 Pakistan Television Academy (PTV アカデミー)

PTV アカデミーの建物はETVに隣接し、ETVのスタッフの一部はアカデミーに間借り

している。ETV と密接な関係にあるアカデミーが ETV 職員の研修訓練にどこまで関与できるかといった観点から PTV アカデミーの組織と研修体制を見てみる。

#### (1) PTV アカデミーの組織と設備

PTV アカデミーの組織は、Director Training Academy (所長) の下、技術部門及び番組制作部門に各々 1 名ずつ Controller と Deputy Controller を配置している。技術部門での研修担当講師は、1. VTR / VCR、2. テレビ技術、3. デジタル技術の 3 分野に各 1 人。番組制作部門の講師は、1. カメラ指導、2. ニュースと時事問題、3. 番組制作、4. 組織分析の 4 分野に各々 1 人ずついる。研修科目によっては、PTV 及び PBC (パキスタン放送協会・ラジオ) が講師を派遣することになっている。このほかの要員として研修参加者のための宿泊、食事の世話をしている。

PTV アカデミーは、その第 1 期計画が 1988 年に定成しただけに、設備や機材面でやや旧式のものを使用され、最新機材が不足している。例えば、VTR 機器は、U-マチック用はあるがベータカム用の最新機器は設置されていない。将来、機器が導入されてもその操作技術を指導できる教師はいない。

#### (2) PTV アカデミーの研修内容と受講生数

PTV アカデミーにおける研修は、PTV 職員及び新人に対して行われ、1 回の研修で技術系 12 人、制作系 12 人、計 24 人の研修生を受け入れ可能である。研修生は研修期間中全員寮生活を送る。

1992 年 6 月 30 日現在までの研修参加者は、下記のようにになっている。

技術訓練コース	734 人
技術ワークショップ / セミナー	682 人
番組制作訓練コース	233 人
番組制作ワークショップ / セミナー	224 人
資金・予算	112 人
AIBD との協同研修	94 人
	合計 2079 人

\* AIBD (アジア太平洋放送開発機構、本部はマレーシア)

#### (3) PTV アカデミーの研修コース及びワークショップの種類

PTV アカデミーでの最近の研修コース及びワークショップの種類は、以下のようである。

1991 年～1992 年

<研修コース>	<研修期間>
VCR (VTR) の維持補修ワークショップ	(7 月～8 月 1 週間)



テレビ送信機の維持補修	(8月～9月 5週間)
カラーテレビ技術の基礎	(11月～1月 9週間)
メイクアップのためのワークショップ	(6月 1週間)
*全9コース	*合計27週間と9日間

1992年～1993年

〈研修コース〉	〈研修期間〉
コンピューターグラフィックス	(7月～8月 5週間)
経理のためのコンピューター操作	(10月～11月 5週間)
ダビング技術	(1月 2週間)
子供番組制作研修	(1月～2月 4週間)
ドラマ番組制作研修	(5月 4週間)
*全15コース	*合計70週間
〈ワークショップ・番組制作〉	
宗教番組ワークショップ	(7月～8月 3週間)
照明ワークショップ	(9月～10月 10日間)
音楽ワークショップ	(3月 3日間)
*全8コース	*合計3週間を41日間
〈ワークショップ・技術〉	
ポストプロダクション	(9月 7日間)
U-マチック VCR	(11月 7日間)
カラーモニター	(3月 6日間)
*全6コース	*合計38日間

以上の研修コース及びワークショップの種類と受け入れ期間から理解できるように、PTV アカデミーの研修状況は、現状でフル回転していると思われる。また、ETV に設置されたような最新機器がないため、基本的な制作、技術研修は可能であるが、技術の進歩に合わせた研修は困難である。

#### 2-4-4 アラマイクバル公開大学 (AIOU)

##### (1) AIOU のコースと受講生

AIOU は、パキスタン国の遠隔地教育の実験機関として1975年にスタートしたが、現在では国の正式教育機関としての役割を果たしている。

1991年秋季学期(春季学期は4月、秋季は10月にスタート)においてAIOU が提供したコースは、遠隔地に在住しているため教育を満足に受けられない人々のための初等文

学コースから大学の学士、修士レベルの経済学、教育学コースまで431コースである。コースにはラジオ番組が229コース、テレビ番組が40コース含まれている。なお、AIOUでは1番組を1コースとしてカウントしている。受講生は107,000人であった。

過去の受講生の男女別内訳は、以下のようになっている。

1984年～1985年	男性71% (75,299人)	女性29% (30,458人)	計105,757
1988年～1989年	男性60% (115,112人)	女性40% (75,334人)	計190,446
1989年～1990年	男性69% (161,827人)	女性31% (73,469人)	計235,296
1990年～1991年	男性66% (114,358人)	女性34% (59,214人)	計173,572

パキスタン国人口の52%を占める女性の教育水準を高めようとする政府の方針にのって、AIOUでは女性のための初等・中等教育、収入を高めるための生産向上教育や技能講座などのコースを積極的に設けている。

## (2) AIOUの視聴覚教材制作体制

視聴覚教材を制作しているのは、AIOUの中のInstitute of Educational Technology (A/V教材制作技術センター)で、センターの組織は、番組制作部、脚本室、教材調整部、美術デザイン部、技術部、資料部から成る。以上の組織の中で公開大学教師によりカリキュラムやコース内容が設定され、A/V教材用の脚本が執筆される。番組制作部のディレクターは、その脚本に基づいて演出形式や映像処理を決め番組を制作する。大学のテレビ用スタジオは1室。1本の番組を平均1週間かけてスタジオ収録する。

下記の各コースは、テレビ番組及びビデオカセット教材としてAIOUにストックされている教材である。

### Degree level Courses (学位習得コース)

1. 輸出～市場調査とマネジメント～	輸出増、商業用語、相場など	9コース
2. 人口問題		2コース
3. 食料と栄養	基本食品と栄養、新陳代謝、病虫害	5コース
4. 経済学	消費者行動、国家収入	5コース
5. イスラム教		5コース

### Intermediate Level Courses (中等教育コース)

1. 育児	妊娠中、出産、離乳、体の成長	9コース
2. 一般科学	原子論、炭素とその構造	5コース
3. エレクトロニクス基礎編	電流・電圧・抵抗、トランジスター	5コース
4. 家庭用電気器具の修理	アイロン、ヒーターとトースター	5コース
5. 統計	確率論、統計的推定、相関回帰	5コース
6. 食料と栄養	基本食品とエネルギー源、ビタミン	5コース

7. 農業収入の方法	養蜂、養蚕、植林、養魚	4 コース
------------	-------------	-------

Matric Level Courses (大学入学資格者養成コース)

1. 応急手当		4 コース
2. ドレスメイキング1		3 コース
3. ドレスメイキング2		3 コース

Functional Programmes (技能、語学講座)

1. Lughat-ul-Islam(イスラム辞典)	ウルドゥ語学講座 6年	8 コース
2. //	7年	8 コース
3. //	8年	8 コース
4. 養鶏	鶏舎建設とひよこ選定、孵化	4 コース
5. 養鶏 (4のシンデイ語版)		3 コース
6. 光レーザー		2 コース
7. トラクターの維持補修		5 コース

調査団が現地で視聴した AIOU 制作ビデオ教材から AIOU 制作部の、番組演出及び技術レベルについて、以下に述べる。

① 農業番組から「農作物と害虫」

コクゾウ虫など穀類の害虫とその予防法について解説したこの番組は、播種から成長、収穫の段階まで、穀類と害虫との関係を豊富なビデオ資料を駆使して解説している。

② 育児番組から「出産」

婦人向け育児番組は、妊娠から出産、離乳など育児について取り上げている。視聴番組は、「出産」。正常分娩、異常分娩、奇形児の出産までさまざまな出産について解説している。制作者の話では、演出上兎唇児などをイラスト処理でなく実写で紹介したかったので、奇形児撮影のために3カ月を要したという。シナリオは、公開大学教師が執筆するが、番組の演出や映像処理は、演出者の考えが優先され、必要とあれば制作期間を大幅に伸ばすこともある。

③ 統計番組から「確率」

この番組は、中等教育番組で、男女2人の講師がサイコロを使って確率の初歩的な解説をしている。スタジオを使用したシンプルな演出形式をとっている。

④ ウルドゥ語講座番組

子供達が日常生活の中で交わす会話をビデオで示しながらウルドゥ語学習を行っている。ビデオ粗材でどこまで視聴者の興味づけができるか、演出者の苦心がうかがえる。

以上の番組を視聴した範囲で AIOU 番組制作スタッフのレベルを判断するに、VTR は20年前、カメラは10年前のものといった旧式の機材を使用しているにもかかわらず、一定レベ

ル以上の番組を丁寧に制作しているといえる。

AIOU の制作スタッフが ETV スタッフに教育番組制作のノウハウを教えることができれば、言葉の障害、文化ギャップもなくパキスタン国民教育に必要なカリキュラムから番組内容レベルに至まで、懇切丁寧に伝達できるものと思われる。しかし、AIOU と ETV との使用機材の新旧格差が大きすぎるため、最新機器を駆使して演出する教育番組制作訓練は困難である。

AIOU の制作スタッフが、ETV に設置された機材を使用して、まず、新しい教育番組の演出方法をマスターし、その技術を ETV 職員に伝達することが可能であれば、これが最良の方法ではないかと考えられる。

### 3. 調査団提言

#### 3-1 総括的提言

##### 3-1-1 プロジェクトの実施の可否等

パキスタンから1992年1月7日に提出されたパキスタン国教育テレビジョンの拡充計画に対するプロジェクト方式の技術協力(以下、プロ技協という。)において、わが国に要請されているのは、教育番組制作及び放送技術の分野における幅広い技術である。本要請の目的は、プロ技協により、専門家の派遣、日本での研修員の受入れ及び機材供与を有機的に行い、技術移転を実施しようとするものである。これらの技術移転は、教育テレビジョンチャンネルが現在の1日約7時間程度の放送時間を拡大する場合に、早急に必要となるものである。

調査団は、パキスタン側との話し合いの中で、パキスタン側が求めている技術移転は、日本としても積極的に協力していく必要があるが、プロ技協によらなくとも、技術移転の実施は可能であるとの見解を得た。

また、日本がプロ技協によって技術協力を行う場合には、マスター計画を作成するためある程度の期間が必要なことや、日本側の協力体制の整備が必要なことから、早期の技術移転を望んでいるパキスタン側の要請に応じられない可能性がある。

以上を総合的に判断すると、今回のパキスタン側の要請については、調査団は、プロ技協によらず、専門家の派遣、日本での研修員の受入れ等を個別に実施していくことが適当であると考えている。なお、パキスタン側も、実質的な技術移転が行われれば、技術協力の実施方法にはこだわらないとの考え方を示しており、両国の友好関係に特段の支障はないものと考えられる。

##### 3-1-2 プロジェクト目標・評価案

実施済みの無償資金協力及び今回のプロジェクト方式技術協力の要請においても最終目標として教育の重要性を強調しているが実施計画と最終目標との間に数段階の空白が存在するように思える。教育テレビが教育の向上に多大な役割を果たすことは疑いのない事実である。しかしながら、教育テレビを効果的に利用するためには、教育番組作成のための前提条件となる教育方針の確立が重要であり、教育省との協力が不可欠であるにもかかわらず、現状では放送のハード面ばかりが先行しているとの印象が強い。今回のプロジェクト方式技術協力の要請においては、番組作成というソフト面に焦点を当てているが、PTV 2の施設は正に放送局としての施設であり、番組作成技術の移転を日本側が行うには適当ではない。純粋にプロジェクト方式技術協力のスキーム適用を考慮するならば、PTV 職員の技術協力を実施しているPTV アカデミーや放送教育の分野で長年の実績を有しているアルマ・イクバル・オー

ブン・ユニバーシティ (AIOU) を念頭に置くべきであろう。いずれにせよ、教育の向上を目標として考えるならば、教育省との関係は不可欠であり、PTV と AIOU との協力もままならない現状では、目標設定が困難と言わざるを得ない。また、国家計画において教育の重要性が示されていることは確認できるが、テレビ利用については不明確である。

### 3-1-3 わが国の協力

現地では、本計画に対する第二次無償資金協力の実施や AIOU に対する同様の無償資金協力の実施が検討されているが、上記 1. 及び 2. の問題もあり、当面は PTV 2 の運営状況を見定める必要がある。また、教育の向上を目標とする放送関係のプロジェクトについては、パキスタン国内における情報放送省と教育省との協力関係の確立を確認してから新たに本格的な支援を検討すべきであり、それまでの間に緊急性のある問題については、技協のスキーム等で対処する必要があるであろう。

### 3-2 運営体制

本件計画に対する協力の実施可能性 (スキームを限定しない) を検討する際に重要となるのは、計画の実施母体を明確にすることである。パキスタンにおけるテレビは、1964年、情報放送省の監督のもとに実験放送を開始、1967年にパキスタンにおける唯一のテレビ放送局としてパキスタン・テレビ公社 (PTV) が設立された。89年、90年の両年度に教育テレビを設立することを目的として実施された無償資金協力の調査報告書においては、教育テレビの将来における独立に言及しつつも、「現行の PTV が本計画 (教育テレビチャンネル設立計画) 実施母体であることに変わりはない。」と結んでいる。

教育テレビの設立段階においては、わが国協力の受け手として唯一のテレビ放送局たる PTV のみを念頭に置けば事が済んだが、イスラマバードにおける教育テレビの施設が完成し、パキスタンのテレビ界における重鎮たるカマル氏が教育テレビ・プロジェクトの推進者として教育テレビ (Second TV Channel for Education, PTV 2) の代表者に就任したことから、わが国協力の受け手を特定することが複雑化している。

現状においては、PTV 2 の独立は実現されておらず、人事面、予算面共に PTV に従属しており、近い将来に独立が実施される見込みもない。従って今回のプロジェクト方式技術協力の要請においても PTV があくまでもわが国協力の受け手であり、当方からの質問に対しても、PTV 2 は PTV の事業 (Project) と答えている。しかしながら、実力者カマル氏が PTV 2 の責任者であること、わが国から最新の設備が供与されたことから PTV 2 の関係者の意気は高く、ともすれば現在 PTV の傘のもとに GTV (現行放送) と ETV (教育テレビ) が対等に存在しており、近い将来両者が独立するかの印象が先行している。

わが国としては、PTV 2が既に充分な機材のもとに放送を開始していることから、安易な追加援助（無償等）の検討をせずに、PTV 2の今後の推移（カマル氏の引退も近いとの由）を見守る必要がある。

### 3-3 「制作技術」

1992年11月に開局した ETV は、その職員の全てが PTV からの移籍であり、1人1人の資質は別にして全体的にはベテラン集団との印象を受けた。このため、スタジオ作業、VTR 編集、運行技術等の基本的な番組制作・送出業務の実施に当たっては、当面のところ不安はない。しかし、調査団が滞在中に進行していた新しいスタッフの採用後には、いたずらに新人達による番組制作本数を多くすることなく、まず PTV アカデミーでの研修および ETV における OJT を通じて、基礎技術力の涵養に努めるべきである。

制作設備については基本的な最小限度の設備に加えて、新傾向のポストプロダクションおよび 4 言語放送設備が導入されている。しかし、これらの新設備は技術的な操作には問題はないが、番組制作のプロデューサーにとってはどう使いこなせばよいのかとのとまどいがある。一方、コンピューターグラフィックスは同種のもものが PTV および PTV アカデミーにあって、従来からコンピューターグラフィックスをテレビ番組制作にどう生かしていくかの概念がプロデューサーに定着していたため、番組制作設備の中でも先端に行く機材が有効に活用されている好例となっている。つまり、非日常的な高級、複雑な設備は、プロデューサーにとってはそれを使って何をしたらよいのか困惑を生むだけである。今回の調査で ETV が具体的に日本に求めている協力は、番組制作設備の活用と職員の養成であって、プロジェクト方式技術協力以外の援助スキムによって対応が可能である。

### 3-4 番組制作レベルでの提言

ETV 職員の研修について次の通り考える。

ETV では新人を含めた制作、技術要員に対して、コンピューターグラフィックスなど最新映像技術を駆使した教育番組制作研修を我が国に求めている。

まず、新人ディレクター（プロデューサー）の研修に関して述べると、教育番組であれ、音楽芸能番組であれ、番組制作の基本的なノウハウは同じである。番組制作の基本をマスターするには、先輩プロデューサーやディレクターを講師とする研修、あるいは PTV 新人職員との合同研修を PTV アカデミーにおいて行うことで充分対応できる。

また、CG 映像制作研修に関しては、制作者は演出上 CG 画面が必要であれば、その映像イメージを紙面あるいは言葉で CG オペレーターに伝えることができれば十分で、ディレクター全員が自らコンピューター操作できる必要はない。

日本がETVに対し技術援助できると考えられることは、教育番組制作の豊富な経験から学校向け教科番組、通信教育講座などの在宅学習番組、語学講座、技能講座、あるいは医学健康番組などの一般教育番組制作にあたって、カリキュラムやテーマの選定、テレビ的な番組の構成と展開方法、教育効果をあげるために有効な映像表現などの事項である。しかもこうした教育番組制作研修は、日本からの講師派遣、パキスタン国からの来日研修を含め、制作関係者全員を対象に長期間行う必要はなく、短期間研修で十分効果を上げられる。ただし、理科番組、語学番組など学習分野で制作方法がやや異なるため、研修講座のコースは検討する必要がある。

ETVでは職員の早期養成を実施することで、放送時間量に対する教育番組ソフト不足を早急に解決したいと願っている。しかし、現状では近い将来番組ソフト自給率を高めることは困難である。そこで、その応急処置として、文化無償協力による番組供与制度を活用することが考えられる。今回の調査で得た情報では、ETVは日本政府に対して、「シルクロード」、「惑星・地球の素顔」、「あすの福祉」、「名曲アルバム」などNHK制作番組の英語版、272本の提供を申請している。ETVの将来展望として、局の職員養成だけでなく、こうした番組ソフトの提供も合わせ配慮することが望まれる。



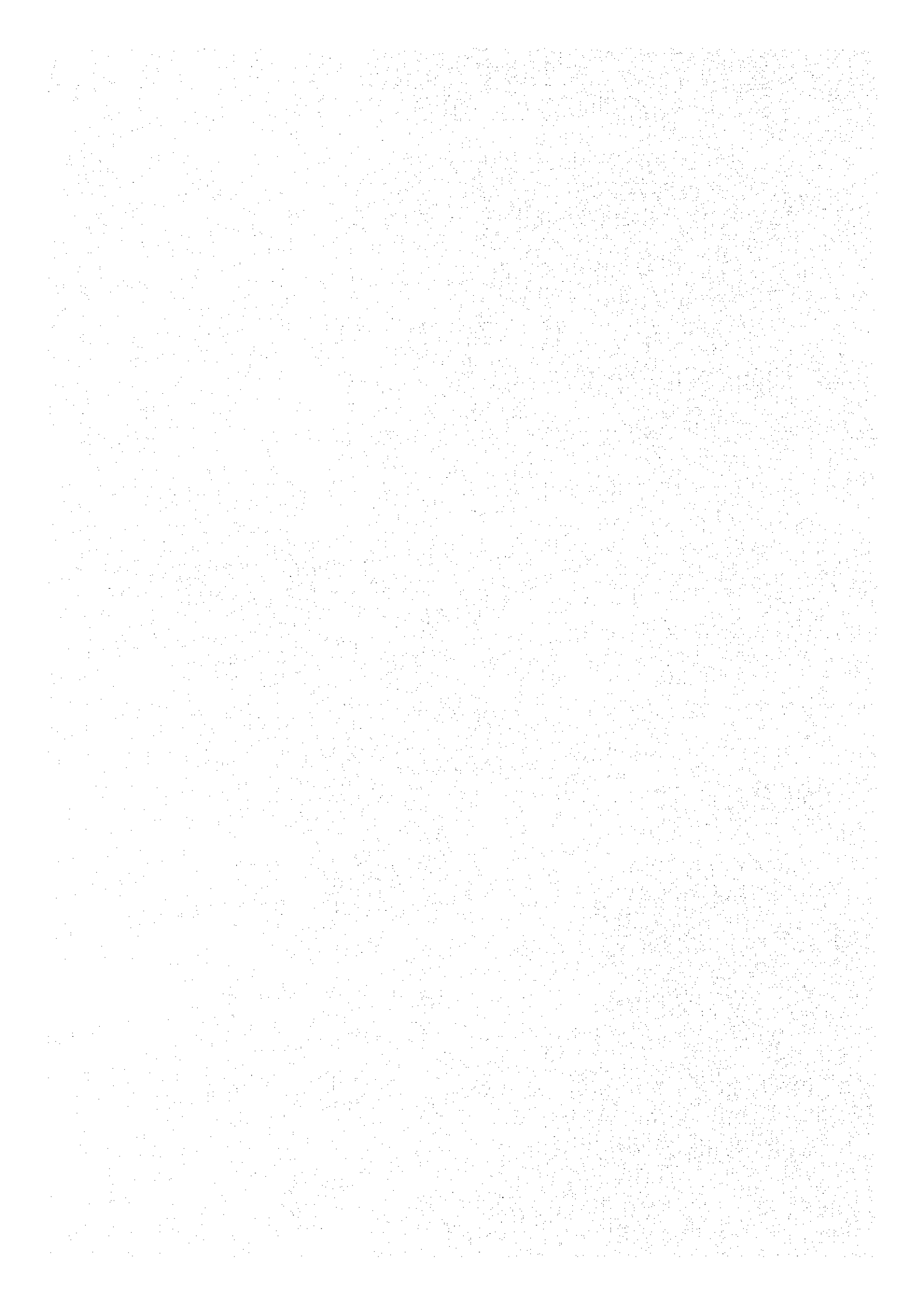
#### 4. ミニッツ署名

前記3に述べられた調査団の総括的提言は、調査団の判断と結論であり、パキスタン側も理解しうる内容であった。

これらをふまえ5月30日（日）パキスタン・テレビ公社で調査団団長福田早千夫氏と教育テレビ局理事 KAMAAL 氏との間にミニッツ署名が行われた。詳細は次頁以降のミニッツを参照願いたい。



# 付 属 資 料



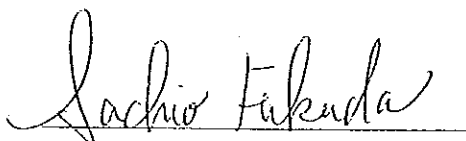
THE MINUTES OF MEETING  
BETWEEN THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE ISLAMIC REPUBLIC OF PAKISTAN  
ON THE TECHNICAL COOPERATION FOR THE SECOND TV CHANNEL FOR EDUCATION

The Japanese Preliminary Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency and headed by Mr. Sachio Fukuda, Ministry of Posts and Telecommunications, visited the Islamic Republic of Pakistan from May 24, 1993 to May 30, 1993 for the purpose of clarifying the contents and necessity of the request of project-type technical cooperation for the Second TV Channel for Education in Pakistan which was submitted on January 7, 1992 by the Government of Pakistan to the Government of Japan (hereinafter referred to as "the Request").

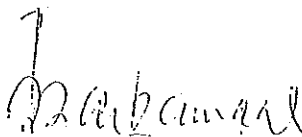
During its stay in the Islamic Republic of Pakistan, the Team visited Pakistan Television Corporation Limited (PTV), Educational Television (ETV) Centre, PTV Academy and Allama Iqbal Open University (AIOU) and had a series of discussions on the Request with the Pakistani authorities concerned.

The main points of discussions between both parties are written down in the document attached hereto.

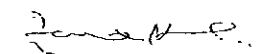
Islamabad, May 30, 1993



Mr. Sachio Fukuda  
Leader  
Preliminary Survey Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



Mr. Fazal Kamaal  
Director Educational Television (PTV2)  
Pakistan Television Corporation Limited  
Islamic Republic of Pakistan



FARHAT HUSSAIN  
Joint Secretary  
Economic Cooperation Commission  
Government of Pakistan  
ISLAMABAD

THE ATTACHED DOCUMENT

1. Contents of the Request

The Team and the Pakistani authorities concerned had series of discussions to clarify the contents and necessity of the Request. As a result, the Request was summarized through the discussions to the following items.

(1) Purpose of the Request

To get substantial and quick transfer of technology in the field of educational programme production and television engineering through project-type technical cooperation.

(2) Scope of Technical Cooperation in the Request

i) Dispatch of Japanese Technical Experts

The Pakistani authorities concerned requested short-term dispatch of Japanese technical experts in the field of educational programme production and broadcast-engineering.

ii) Training Programmes in Japan

The Pakistani authorities concerned requested short-term training programmes in Japan for the staff of the Pakistan Second TV Channel for Education in the following fields:

- a) Programme Production.
- b) Programme Management.
- c) Programme Production Engineering.
- d) Network Planning.
- e) and Television Viewers' Opinion Research.

iii) Provision of Equipment

The Pakistani authorities concerned requested Japan to provide the equipment necessary to facilitate training by the dispatched Japanese experts.

(SF)

## 2. The Views of the Team

The Team understood that it was necessary to find any appropriate measures for conducting substantial transfer of technology in the field of television programme production and television engineering. The Team also found that it was possible to achieve the purpose of the Request in short span of time, without utilizing the scheme of project-type technical cooperation, by adopting alternative means.

## 3. Understanding between Both Parties

Both parties agreed to report the above items 1. and 2. to the respective governments and to consider all possibilities of furthering mutual cooperation in the field of Second TV Channel for Education.

1

(SF)





資料① プロジェクト方式技術協力に係る要請書

بِسْمِ اللّٰهِ الرَّحْمٰنِ الرَّحِیْمِ

P. O. Box No. 1221  
Cables : PAKTEEVEE  
Phones : 822194 to 822195  
828651 to 828655  
819041 to 819045  
810951 to 810953  
Telex : RP 5833  
Fax : 823406

PAKISTAN TELEVISION  
CORPORATION LIMITED  
HEADQUARTERS  
Constitution Avenue Islamabad  
Postal Code 44000



Ref: No. AGD-15/12-51

07 January, 1992.

Ms. Perveen Zaib,  
Section Officer (Dev.)  
Ministry of Information  
and Broadcasting,  
Government of Pakistan,  
Islamabad.

Subject: PROJECT-TYPE TECHNICAL COOPERATION (PTTC) FOR THE  
FINANCIAL YEAR 1992-93.

Dear Madam,

Economic Affairs Division vide O.M.No.3(136)CM.III/89, dated 14 November, 1990 and Ministry of Information & Broadcasting vide U.O.No.2(47)/90-TV, dated 21-11-1990 (copies attached) advised PTV to submit a request for the project Type Technical Cooperation in respect of Second TV Channel for Education. PTV vide letter No.ACD-15/1565, dated 21-02-1991, submitted its proposal for the Project Type Technical Cooperation. However, Economic Affairs Division vide O.M.No.3(136)CM.III/89, dated 09-07-1991, forwarded a copy of Embassy of Japan letter No.JEQ/094-91/R, dated 07-07-1991, informing that the Government of Japan has decided that this project shall continue to remain under consideration as a possible project for PTTC for the financial year 1992-93. We are, therefore, submitting a fresh proposal (in triplicate) for the Project Type Technical Cooperation in respect of Second TV Channel for Education for onward submission to the Economic Affairs Division.

2. It is requested that the proposal may kindly be approved and recommended at the earliest.

Thanking you,

Yours faithfully,

Encl: as above:

( IQBAL HUSSAIN )  
Controller Finance

PAKISTAN TELEVISION CORPORATION LIMITED

REQUEST OF PROJECT TYPE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
SECOND TV CHANNEL FOR EDUCATION

1. NAME OF THE PROJECT:  
Second TV Channel for Education.
2. EXECUTING AGENCY:  
Pakistan Television Corporation Limited.
3. LOCATION:  
Pakistan Television Corporation Limited, Islamabad.
4. BACKGROUND OF THE PROJECT:

- Status of the Project:

The PC-I Form has been approved by ECNEC in its meeting held on 15th September, 1990. In view of the signing of the exchange of notes between the Government of Japan and Government of Pakistan, Government of Japan has extended grant aid amounting to Japanese Yen 1.643 billion for the first year and 1.783 billion yens for the second year of the project, totaling to Japanese Yen 3.426 billion.

- Necessity of the Project:

Need for the use of TV both for formal and non-formal education does not call for any emphasis. PTV is presently operating on a single channel, which is heavily over-loaded with variety of programmes and thus cannot cater for impending needs of promoting mass education in the country. The present literacy rate in Pakistan is 29%, which is the lowest in this region. The project of 2nd TV Channel for Education has been visualized to help stemming the tide of currently increasing number of illiterates, which is on the increase due to growth in population. The Second TV Channel will meet the

Contd.....P/2....

education needs of the people including information and education on health, hygiene, sanitation, agriculture, population planning, handicraft, cottage industry etc. It will also provide facilities to meet the expanded requirements of Allama Iqbal Open University. The Second TV Channel will also ensure a uniform hard-core for the best instructions for all learners and trainees by providing continuous guidance to teachers for face to face discussion and other follow-up activities. It may further be emphasized that television ~~can~~ not only bring the best teachers to all viewers and learning groups, but also enable them to record their most polished performance through painstaking preparation and making full use of the audio visual media.

- Requested Grant-in-Aid to Government of Japan.

5. PURPOSE OF THE REQUEST FOR PROJECT TYPE TECHNICAL COOPERATION:

The Second TV Channel for Education is being established through the Japanese Grant-in-Aid assistance. There is acute need for training of staff in various specialized fields. The development of software for the operation of the project which is all the more essential as project of such type/is being taken up for the first time in Pakistan. There will, therefore, be need to develop linkages between similar institutions in Japan for which Japanese experts will also be needed in Pakistan and Pakistani personnel in the field shall be sent to Japan for short period on training and exchange visits.

6. CONTENTS OF THE PROJECT:

i) Period of Cooperation. 3 years.

ii) Experts:

The Japanese experts will help to maintain and operate the project and will also demonstrate the use of various equipment and ensure the proper functioning of the equipments under the project. They will help to coordinate in the various functions of the project with similar Institutions/Projects in Japan and to establish linkages with various Japanese experts in the fields with

.....p/3.....

the Pakistani experts in different specialized fields.

iii) Specialized Fields of Experts.

a) Educational Programme Experts to impart training in the latest production technology with Digital TV Production Technology:

Producer - 1 (2 years)  
Engineer - 1 (2 years)

b) Satellite Communication Technology including Satellite News Gathering and Satellite Reception Technology together with nationwide network (transmission) planning including CATV Systems:

Engineer - 1 (1year)

iv) Training of Pakistan Personnel in Japan

In order to support the project and establish continual linkages with such organizations in Japan, there will be a need for short exchange visits by PTV personnel. The training of PTV Personnel in Japan is proposed as follows:-

a) Training of higher administrative staff in ETV Programme Production, transmission Planning strategy intervening new evolving satellite technique in view of multi-language broadcasts, envisioned in Second TV Channel broadcasts, as well as methodology for bilateral exchange of programmes:

4 Persons - 2 weeks each.

b) ETV Programme Production Deploying latest technology and latest equipment including digital:

15 persons - 8 - 10 weeks each.

c) Satellite Earth Station Technology with Nationwide network Planning including CATV Systems:

2 persons - 8 - 10 weeks each.

v) Short Exchange:

Managers and planners to study and find ways and means to accelerate bilateral exchange of programmes in all fields i.e. drama, music, documentaries, S.N.G. News and Current Affairs etc:

8 persons - 2 weeks each.

It is therefore requested that provision for sufficient funds are made for this purpose.

.....p/4.....

SNG Satellite News Gathering

vi) Machinery and Equipment:

The machinery and equipment required for the establishment of Second TV Channel for Education is being provided under grant aid by the Government of Japan. However, in the process of training and technical cooperation by experts, the machinery equipment and material necessary for the purposes shall need to be provided by the Government of Japan within this project.

7. RELEVANT INFORMATION:

i) Status of the Project in the 5 years development Plan:

Establishment of the Second TV Channel for Education is include in the 7th Five Year Plan.

ii) Counterpart Personnel of the Project:

PTV personnel in the respective fields will work as counterpart personnel of the project with Japanese experts.

iii) Budget for the Project (Ist Phase comprising two years)

Capital cost of the Project:

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| a) Local Costs.            | Rs. 119.956 Million. |
| b) Foreign Exchange Costs. | Rs. <u>507.297</u> " |
|                            | Rs. <u>627.253</u> " |

c) Annual Recurring Cost:

The annual recurring expenditure of Second TV for Education (Ist Phase) after completion in the year 1992-93 will amount to Rs.242.658 million.

iv) Present Situation of the facilities for the Project:

The Second TV Channel for Education (Ist Phase comprising first two years) is being implemented with the cooperation of Government of Japan. The work on the project is scheduled to be completed by 15th March, 1992.

8. It may also be submitted here that before the implementation of the Project Type Technical Cooperation Programme, as requested in the foregoing paragraphs, it would be appropriate to start with the <sup>exchange</sup> ~~exchange~~ of experts at even a small scale which may gradually be enhanced to the level as per the request.



## ② 質問表とその回答

### ア. 質問表

#### パキスタン回教共和国教育テレビチャンネル設立計画

#### Questionnaire

##### 1. パキスタン国の教育の現状について

貴テレビは教育一般の普及を目指すそうですが、日本では状況がつかめない以下の項目につき回答をお願いします。

- (1) 幼稚園、保育園でのカリキュラムの内容は
- (2) モスクではどのような教育が行なわれているか (対象、内容)
- (3) Nai Roshani 青年学級の状況は (対象、カリキュラム) (識字教育)
- (4) 識字率が低いこと (約30%)、男女差、地域差が大きいことの原因をどう分析しているか  
また、その解決には何が必要と考えているか

##### 2. PTVの現状について

- (1) PTVの過去3年の決算
- (2) PTVの現在の組織図
- (3) PTVの現在の専門別職員数
- (4) PTVの現在の番組編成と種類別パーセンテージ
- (5) PTVの現在の職員訓練方法、また訓練センター設立の計画はあるか
- (6) テレビ受像機の普及状況は (できれば地域別)
- (7) PTVの職員の定着度は (退職の割合、理由)
- (8) 番組1本あたりの製作費はいくらか、内訳も (具体例を一つ)

##### 3. セカンドチャンネルについて

###### a. 予算・法律・組織に関すること

- (1) セカンドチャンネル開設について教育省をはじめ、情報放送省以外の省から得る具体的なレポート事項
- (2) セカンドチャンネル運営のための1991年度と1992年度の人件費、番組費、保守経費等所要経費の収支計画と財源
- (3) 放送に関する法律と制令
- (4) 監督官庁の組織図 (セカンドチャンネルの位置付けも含む)
- (5) 最新の組織図 (各部局の配置職員数)
- (6) PTVとの関わりについて (便宜供与が得られるか)
- (7) 日本以外からの援助の状況について

b. 職員・機材・管理体制に関すること

- (1) セカンドチャンネルを運営するために必要な要員数(番組、技術、事務等の専門別)
- (2) 新たに採用する専門別要員数及びその確保の方法と養成計画
- (3) プロジェクト方式技術協力が実施されるときに必要とする機材
- (4) 日本に望む具体的技術協力内容 )  
(但し、衛星通信技術、デジタル技術に関する日本の協力が困難な場合、番組制作、制作技術への対応は比較的容易であると思われるが、日本の技術内容が修正される場合その内容を具体的に記入して下さい。)
- (5) 職員の勤務体制について(平日、休日、深夜の体制)
- (6) 各地の送信、受信施設の管理はどうする予定か(管理人を置く、巡回するなど)
- (7) 機器が故障した場合の保守部品、要員の対応について
- (8) 職員の奨励賃金、昇進制度はあるか(能力給など)

c. 番組に関すること

- (1) セカンドチャンネルの1992年度と1993年度の放送サービススケジュール
- (2) セカンドチャンネルが予定する放送番組の種類とその対象者
- (3) セカンドチャンネルの年間、週間、毎日の番組編成計画
- (4) 初等、中等教育番組の概要(教科、内容、時間)
- (5) セカンドチャンネルの視聴により小学校、中学校と高校について卒業資格を取れる制度があるか
- (6) 学校教育でセカンドチャンネルがどのように利用されるかについて文部省との連絡はあるか



## イ. 質問表の回答 (日本文)

### パキスタン教育テレビチャンネルに係る Questionnaire の回答の要約

平成4年10月23日

- 1 (1) 幼稚園教育は私立学校でのみで行なわれている。保育園教育に関しては連邦政府モデル校で行なわれている。  
また、幼稚園・保育園・保育園前教育のカリキュラムは以下の項目から成り立っている。  
(筋肉の運動、手と指の共同作業、読み・書きの初歩、手と目の共同作業、視覚による識別、言語の発達、社交性、音楽、読み書き・数、家事、身の回りの人・物)
- (2) 10才以下の男女はモスクでコーランを学ぶ。
- (3) 1989年で終了した。(内容については答えていない。)
- (4) 1972-1985 年度では、国家予算に占める教育費の割合は1.3%~1.9%とUNESCOが勧める4%よりずっと低かった。しかし、7次5か年計画(1988-1993 年)で、教育分野に重点を置いたため、2.2~2.4%と増加した。また8次5か年計画でも教育分野(特に非識字者の減少)に重点を置くことになる。  
(識字率がずっと低い状態であることの説明はない。)
- 2 (1) 別添参照 1991年分のみ添付
- (2) 別添参照
- (3) 回答なし
- (4) 別添参照
- (5) PTV はトレーニング・アカデミーを有しており、職員の訓練を行なっている。
- (6) 各州ごとのテレビ登録台数はパンジャブ 1,105,420(68.49%)、シンド 460,389(28.53%)、N.W.F.P. 40,704(2.52%)、バルチスタン 6,680(0.41%)、カシミール 803(0.05%) である。  
(登録されていないテレビも多数ある。)
- (7) ほとんどない。これまでのところ、健康上の理由で2人が退職しただけである。
- (8) 番組製作費は4つに分類され、それぞれの一時間あたりの製作費は次のようになる。  
娯楽と一般：165,000パスクルピー(約 825,000円)、ニュース：128,000パスクルピー(約 640,000円)  
最近の事件：96,000パスクルピー(約 480,000円)、スポーツ：80,000パスクルピー(約 400,000円)  
テレビ劇 "Uroosa" についての番組予算は別添参照。
- 3a. (1) 番組制作のアイディアは人口福祉、保健、女性局、教育、AIOU、農業の各省よりきている。
- (2) 別紙参照
- (3) (パキスタン国内法を要望したのだが、社内規約が送られてきた。)
- (4) 回答なし。(情報省の組織図は現在取り付け中。)
- (5) 別添参照
- (6) ETV の予算執行はすべてPTVが行なっている。(機材が借りられるかは不明。)
- (7) 可能性を探っている状態である。

- 3b. (1) ETV運営には約700人必要である。詳細は別紙参照
- (2) ETVの職員のリクルートは国の政策で禁止されているのでETVの職員はすべてPTVより移動した。
- (3) 別添参照
- (4) 新しい回答はなし。(既に入手済の修正要請書を添付してきた。)
- (5) 別添参照
- (6) PTVのテレビ局と送信所は治安上重要な地域とされ、ガードマンが24時間体制で守っている上、警察官も配置されていて、十分な治安対策が取られている。
- (7) PTVは在庫品のストックの制度を持っている。在庫数は、部品ごとの使用頻度、耐久時間を考慮して決められている。また、専属の修理工がいる。しかしETVにはこの制度はまだない。
- (8) 基本的に9種類の給与体系がある。スケールIからIVの職員には残業時に通常勤務時の2倍の給与が支払われる。昇進条件は年功序列による。しかし昇進時に2つ以上のレポートの提出が必要である。

- 3c. (1) 別紙参照
- (2) (a) 学校とカレッジを支援するプログラム (b) 健康、人口、福祉、女性、農業、環境に関するもの (c) 外国の記録映画 (d) PTVの娯楽番組の再放送 (e) PTVのニュース・最近の事件の再放送 (f) PTVの宗教番組の再放送 (g) AIOU (アラマ・イクバル公開大学) コース、以上をすべてのパキスタン国民へ向けて放送する。
- (3) 別紙参照
- (4) 物理、化学、生物、数学などの基礎科学および英語、パキスタン研究、ウルドゥ語、イスラム教を放送する。科目と内容については教育省に頼ることになる。
- (5) AIOUのテレビ・ラジオコースによりHigh School, Secondary School, Collegeの卒業資格の取得が可能である。
- (6) 教育省と話をしている。

( ) は補足のため付け加えた。

ウ. 質問表の回答 (原文)

PAKISTAN TELEVISION CORPORATION LIMITED

SECOND TV CHANNEL FOR EDUCATION IN PAKISTAN

QUESTIONNAIRE

1. パ国教育の現状

Ques:No.1(1) What subjects are in the curricula for the kindergartens and day nurseries?

Answer: The curricula for Pre-Nursery/Nursery/KG is as per Annexure-1(1)-1 (29 pages).

It is, however, pointed out that kindergartens are neither common nor are part of government education policy. Kindergartens are being run in private schools. The day nurseries are, however, available in Federal Government Model Schools. As a policy the primary schools start from Class-I of which the curricula may please be seen at Annexure 1(1)-2 (comprising 2 pages).

Ques:No.1(2) Is there education in the masques? If there is, who (ages, sexes) are learning which subjects?

Answer: Yes. In masques, children (both sexes below - 10) go for learning Holy Quraan (The Holy Book of Islam). Besides, basic religious education is also imparted to the children.

Ques:No.1(3) Who (ages, sexes) are taking part in the Hai Roshani Youth Class? What are they learning there?

Answer: Hai Roshani Schools have been disbanded during the year 1989.

Ques:No.1(4) How do you account for the low rate of literacy (about 30%) What kind of solutions are needed to increase it?

Answer: Pakistan faces serious challenges in the field of education with low level of literacy and participation rates. The public sector expenditure on education over the past

.....p/2.....

has been much lower the level of 4% of GNP, recommended by UNESCO for countries at Pakistan's level of development as is evident from the total expenditure on education since 1972-73 to 1985-86:-

Year :	(Rs. in Million)		
	Total Expenditure on Education.	GNP	Total Expenditure as % of GNP
1972-73	855.7	67,955	1.3
1973-74	1153.3	83,719	1.3
1974-75	1775.4	112,330	1.6
1975-76	2275.4	133,356	1.7
1976-77	2299.6	155,288	1.5
1977-78	2965.5	188,473	1.6
1978-79	3112.2	209,448	1.5
1979-80	3502.7	252,463	1.4
1980-81	4191.6	300,828	1.4
1981-82	5001.3	349,508	1.4
1982-83	6154.5	403,782	1.5
1983-84	7522.9	459,397	1.6
1984-85	9350.7	510,468	1.8
1985-86	10711.2	555,891	1.9

The 7th Five Year Plan (1988-93) strategy was to broaden the resource base for education by generating additional resources for education and by encouraging private sector's participation in educational development, universalization of access to primary education, substantially improving technical and vocational training facilities and improving quality of education at all levels. It also envisaged to reduce disparities of education facilities between rural and urban areas and between males and females. The annual development programmes of education sector were geared towards achieving these objectives as can be appreciated from the following data:-

.....P/3.....

(Rs. in Million)

Y e a r s :	Total Expenditure on Education.	G N P	Total Expenditure on Education as % of G.N.P.
1988-89	19482.8	797,750	2.4
1989-90	20884.4	894,714	2.3
1990-91	23567.4	1048,872	2.2

NEM EDUCATION POLICY:

In order to give education a proper direction in line with Government's commitment an Inter-provincial Education Ministers Conference was held in Islamabad on 15 - 16 January, 1991 to formulate the future education policy of the country. The conference identified the following areas for special attention:-

- Feasible literacy target for the year 2000 and ways and means of achieving them;
- Special problems involved in expanding rural education and female education programme;
- The chronic problem of quality of education including the problem of adequacy and quality of teachers;
- The utilization of mass media and non-government organisations for the spread of education; and
- Preparing the country for 21st century and its implications in terms of promotion of science and technology.

The approach paper for 8th Five Year Plan (1995-98) suggest the followings approaches for literacy and education during 8th Plan:-

Literacy and Education:

Education must be the highest priority of any social or economic development plan. Unfortunately, despite complete agreement on this point, plan allocations to energy, transport, and irrigation & drainage projects

.....p/4.....

preempt the allocation of funds necessary to translate this realisation into a practical programme of action. At the same time, the low overall quality of education and the fragmented structure of the system of education serves to ensure that the effective demand for education remains well below its social returns.

These structural constraints can only be overcome gradually, through a process of democratisation of society as a whole. At the same time, it must be realised that the need for gradualism has now been invoked for four decades, without much progress on this important front. Given the national will, one plan should be enough to achieve the major objectives of educational change.

The Eighth Plan will seek to design and implement an education strategy which succeeds in democratising the education process, in order to make education accessible to every citizen of Pakistan, rather than being confined to elite groups. The Plan would seek to raise the educational profile of Pakistan, particularly, that of women and especially those in rural areas. Enhanced efforts to achieve educational progress are needed not only to realize the goals of greater equity and increased social mobility but also for providing a technically capable work force. Without mass literacy and primary and secondary education, neither trade liberalization nor industrial deregulation will succeed in producing a work force capable of competing in the world market. Nor would it be possible to produce a politically active and responsible citizenry. Nor, for that matter, would justice and equity be served by such a situation.

The Eighth Plan will integrate educational plans into the larger agenda of social and economic transformation, rather than treating education as a separate sector at par with others. Financial allocations and quantitative targets,

.....p/5.....

while important and necessary, are too often the main preoccupations of public policy in education. The Eighth Plan will examine ways in which voluntary payments by communities can enhance resources available for education. At the same time, however, the Plan will also seek to supplement these goals with political backing which is essential to make education a national priority, and an integral part of the nation's development efforts.

As mentioned earlier, the quality and relevance of education are crucial determinants of the existence of an effective demand for education. In their absence, rates of absenteeism and dropouts will continue to be high, especially at primary levels, and in rural areas. Indeed if genuine demand exists it would provide the pressure for more and better education, relevant to the people's needs (a criterion seldom employed), and of sufficiently high quality. Considerations of demand are also likely to bring about a more balanced distribution of resources among the various levels of education.

The Eighth Plan will reiterate the need to mobilise as large a share of national resources as feasible toward the finance of educational efforts. In this, it will propose innovative ways of broadening the resource base for financing education through fiscal incentives, encouraging participation of private sector and local bodies, and tapping community savings. The Plan will, hopefully, present a major pathbreaking analysis of the system of government grants, educational fees, and financing of education, on the basis of which concrete proposals will be advanced.

At the same time, however, the Eighth Plan will emphasize the quality and relevance of education, its geographical spread, and access to educational facilities, as issues of no less relevance to success in educational reform and development. In keeping with the overall approach of democratic decentralization, the Eighth Plan will seek

....2/6.....

to transfer primary and secondary schools into the control of participatory local institutions. In this way it will be ensured that parents whose children go to these schools have greater say in running the affairs of these schools.

In larger areas, all high schools, colleges, and even universities could gradually be made autonomous; i.e. managed by their teaching faculties, and supervised by sub-divisional, district or provincial committees comprising parents, educationists, ulama, respected elders, philanthropists, retired government servants from the area, and representatives of alumni, faculty and students. The government could provide grants equal to current levels in real terms, set academic standards, and ensure equality of entry opportunities. Within this framework, the institution could set enrolment levels, admission criteria, syllabi, tuition and other fees, salaries and qualifications for the teaching faculty, and the scholarship programme.

Ques: 2(1): Please show us the settlement of accounts of PTV for the past 3 years.

Answer: Accounts of PTV for the past 3 years, namely, 1988-89, 1989-90 and 1990-91 are enclosed as Annexures 2(1-1), (1-2), and (1-3) respectively.

Ques: 2(2) Please give us a current organization chart of PTV.

Answer: Current Organisational Chart of PTV is enclosed as Annexure 2(2-1).

Ques: 2(3) How many staff do you have in specialist fields?

Answer: The question is not clear. It needs elaboration to reply in its proper perspective.

.....2/7.....



Ques:2(4)

Please show us how PTV programmes are drawn up and the ratio of news, drama, sports programmes etc.

Answer:

The annual performance budget based on annual transmission hours is drawn up. Total transmission budget is segmented into self-origination, purchased programmes, repeat telecast, commercials, announcements and promotional telops etc.

The targets for self-origination of programmes of different categories like entertainment and general programmes, news and current affairs are fixed for each production centre. A programme-mix of self-origination purchased (local, as well as, imported), repeat etc; is developed.

Quarterly General Managers meetings<sup>are</sup> held to finalize and approve the programme ideas for each Production Centre.

Each Production Centre presents programme ideas in the quarterly General Managers Meeting. The programme ideas approved in the General Managers Meeting are allocated to the Producers at each centre for production of serials.

Imported programmes are selected during the international exhibitions. Telecast of these programmes is, however, subjected to the Censorship Code of PTV.

The ratio of news, drama, sports programme may kindly be seen in the actual transmission hours as per Annexure 2(4-1).

Ques: 2(5)

How do you train staff? Do you have plans to establish a training centre?

Answer:

PTV has a Training Academy in H-9, Islamabad, which imparts training to the staff. Courses in different spheres are conducted regularly through out the year.

....p/8.....

Ques:2(6): What is the distribution rate of TV sets in each province?

Answer: The distribution of TV sets in each province is as follows:-

Province:	Registered Set Count	
	No. of Sets:	Percentage:
Punjab.	1,105,420	68.49
Sind.	460,389	28.53
N.W.F.P.	40,784	2.52
Baluchistan.	6,680	.41
Azad Kashmir.	803	.05
Total:	<u>1,613,996</u>	<u>100.00</u>

Ques: 2(7): What percentage of staff retire early? What are their main reasons:-

Answer: Pre-mature retirement is not sought by the staff of PTV. The percentage in this regard is almost nil. So far, only two officials have retired pre-mature on medical grounds.

Ques: 2(8): How much does it cost to produce one programme? (Please give us a concrete example.

Answer: Programme Production for the purposes of costing having been categorised as entertainment and general, news, current affairs and sports. Average hourly cost, both direct and indirect for each category of programme is as follows:-

- i) Entertainment & general. Rs. 165,000 per hour
- ii) News. Rs. 128,000 " "
- iii) Current Affairs. Rs. 96,000 " "
- iv) Sports. Rs. 80,000 " "

It may, however, be mentioned that direct cost of each programme is estimated by producer in the prescribed Form for Programme Budget Estimates. Payment to the talents is made in accordance with the Fee Structure and Booking Policy. Indirect expenses are prorated on various categories of programmes. A programme budget estimate form of an episode

.....p/9.....

3. 2nd TV

of a famous TV Play Uroosa is enclosed as Annexure 2(8-1) as an example.

The Second TV Channel:

Ques: 3.a The budget, the law, the organization:

- (1) Are there any requests from Ministries other than the Ministry of Information & Broadcasting?

Answer: The requests from Ministries of Population Welfare, Health, Women Division, Education, AIGU and Agriculture have been received for production of programmes. Ideas for production of programmes have been given by the respective Ministries.

Ques: 3.a(2) What is your budget for the outgoings of personnel expenses, production expenses, maintenance expenses, and the source of incomings for fiscal 1991 and 1992?

Answer: A copy of budget for the year 1991-92 is enclosed as Annexure 3.a(2-1).

Ques: 3.a(3) Please give us copies of laws and legislations concerned with TV broadcasting.

Answer: A copy of Memorandum and Articles of Association of Pakistan Television Corporation Limited, which equally apply to Second TV Channel, is enclosed as per Annexure 3.a(3-1).

Ques: 3.a(4) Please give us an organization chart of the Ministry of Information. (Please point out where the Second TV Channel stands)?

Answer: Second TV Channel is a project of Pakistan Television Corporation Limited. It forms part of Organizational Chart of PTV and not of Ministry of Information & Broadcasting.

Ques: 3.a(5) Please give us an organizational chart of the Second TV Channel. (including the number of staff categorized by fields).

.....p/10.....

Answer: Organizational Chart of Second TV Channel is attached as Annexure 3.a(4-1).

Ques: 3.a(6) Can you easily get assistance (e.g. to borrow, to be helped) from PTV?

Answer: Yes. PTV has not been released any funds to meet the recurring expenses for Second TV Channel. The expenses incurred on account of hiring of transponder, import of educational programmes and on self-origination of programmes have so far been financed by PTV.

Ques: 3.a(7) Does the Second TV Channel get aid from abroad other than Japan? If it does, please describe in detail.

Answer: Second TV Channel has been established with the grant aid extended by the government of Japan. Possibilities for aid have been explored with any other donor.

b) Staff equipment management:

Ques: 3.b(1) How many staff do you need to operate the Second TV Channel? Please show us the number in each field. (e.g. presenters, technicians, desk workers etc.)

Answer: PTV needs about 700 staff members in various fields to operate 2nd TV Channel for Education. A statement showing the staff members in each field is enclosed as Annexure 3.b(1-1).

Ques: 3.b(2) How many staff in each field do you recruit? How do you recruit them? (e.g. exam.) Please give us a training plan for new recruits?

Answer: As a policy, Government has imposed ban on fresh recruitment through out the country. Therefore, no fresh recruitment of staff for Second TV Channel has been made. However, some staff has been transferred from PTV-I as per details available in Annexure 3.b(2-1).

....p/11.....

Ques: 3.b(3): What kinds of technical equipment will you need when the technical cooperation starts?

Answer: Please refer Annexure 3.b(3-1).

Ques: 3.b(4): Which field of technical cooperation do you expect from Japan? Please give us a concrete request. (It is often difficult to dispatch long-term experts of satellite and the digital technique but we might assist in program production, production engineering and areas like that).

Answer: A copy of request for technical cooperation is attached as Annexure 3.b(4-1).

Ques: 3.b(5) Please describe staff working hours. (weekdays, holidays and nightshifts).

Answer: Please refer Annexure 3.b(5-1).

Ques: 3.b(6) How are you going to keep facilities in good condition at each transmission site? (e.g. employment of watchmen, patrolling).

Answer: All production and transmission sites of FIV have been declared as highly sensitive areas from security point of view. Therefore, adequate security arrangements have been made. Security Guards remain on duty round the clock. Besides, Police Guard is also posted by the government at each site. Thus, each site has adequate security arrangement.

Ques: 3.b(7) Are you prepared with enough spare parts and repairmen in the event of a breakdown of the facilities?

Answer: The spare parts inventory is maintained on the basis of the frequency of usage of various spare parts and lead time

.....p/12.....

for import of spares. Keeping this in view, the maximum and minimum stock level are determined for each item of spare parts. Therefore, necessary maintenance of spare parts remain available in stock to cope with eventuality of break-down of the facilities. However, inventory of spares of Second TV Channel is yet to be developed on these lines over the period.

PTV has also repairmen to carry-out repairs and maintenance of the equipment.

Ques:3.b(8) Are staff given incentives to increase wages? Is there a system for promotion? (e.g. payment according to ability).

Answer: There are 9 basic Pay Scales for the employees of PTV. Employees in basic Pay Scale-I to IV are entitled to over-time. If an employee of Group-I to IV is required to work beyond the normal working hours, he is paid overtime at the rate double of normal rates. The criteria for promotion is seniority-cum-fitness. Any employee, at the time of maturity of his turn for promotion is required to have atleast 2 above average reports for promotion to a higher post.

c. Programme:

Ques: 3.c(1) Please show us the broadcasting schedule for fiscal year 1992-and 1993.

Answer: The broadcasting schedule for the fiscal year 1992-93 is enclosed as per Annexure 3.c(1-1).

Ques: 3.c(2) What kinds of programs are you going to broadcast? Whom are you going to aim at? Please give us some examples.

Answer: We will broadcast programme-mix comprising of;  
(a) Curricula support programmes for schools and colleges.

.....p/13.....

- (b) Educative and informational programmes in various social sector such as Health, Population Welfare, Women Development, Agriculture, Environment etc.
- (c) Imported documentaries on various subjects.
- (d) Repeat entertainment programmes from Ist Channel.
- (e) Repeat News and Current Affairs Programmes from Ist Channel.
- (f) Repeat religious teaching programmes from Ist Channel.
- (g) Allama Iqbal Open University Courses for distant education certificates.

The above programmes will be targetted for selective & General audiences of Pakistan in all age groups & all walks of life, e.g. (I) for young mothers; A programme series on child development from one month age to twelve months age. (II) High school Physics experiment; light travels in straight line etc.

Ques: 3.c(3) Please show us the annual, weekly and daily schedule of TV programmes.

Answer: Please Annexure 3.c(3-1).

Ques: 3.c(4) What kinds of programs are you going to broadcast for pupils and students? (subjects and their contents).

Answer: Basically Science subject such as Physics, Chemistry, Mathematics, Biology. Also English language, Pakistan Studies, Urdu language, Islamic Religion. In <sup>this</sup> regard reliance shall be on Ministry of Education for subjects and their contents. Ministry of Education will present the programme ideas.

Ques: 3.c(5) Is it possible to get a certificate of graduation from primary or secondary school through TV programs?

.....p/14.....

Answer: It is possible to get a certificate of High School, Secondary School and College Graduation, based on Allama Iqbal Open University courses through TV-cum-Radio-cum-correspondence courses.

Ques: 3.c(6) Are you or are you going to be in discussion with the Ministry of Education on how ETV programs will be utilized in classes in primary and secondary schools?

Answer: Yes. We are in discussion with education Ministry.

---



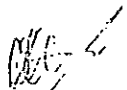
Chartered Accountants

PAKISTAN TELEVISION CORPORATION LIMITED

STATEMENT OF INCOME FOR THE YEAR ENDED 30 JUNE, 1991

REVENUE	VIABLE PROJECTS Rupees	NON-VIABLE PROJECTS Rupees	TOTAL Rupees
Advertising - Net	463,592,954	35,546,374	499,139,328
Licence fee	182,508,508	18,977,246	201,485,754
Programmes sales	6,603,760	-	6,603,760
Educational television programmes	2,569,016	-	2,569,016
Others	69,065,735	(108,611)	68,957,124
	724,339,973	54,415,009	778,754,982
EXPENSES			
Programme production	32,306,628	12,500,245	44,807,473
Newsbulletin	29,317,188	15,573,462	44,890,650
Purchase programmes	13,274,837	3,827,817	22,102,654
Sports programmes	9,954,978	6,325,348	15,280,326
Education programmes	34,228	-	34,228
Overseas projection	816,203	-	816,203
Current affairs programmes	2,562,383	536,141	3,098,524
Commercial production	146,392	-	146,392
Operation and maintenance	38,127,272	35,024,646	73,151,918
Salaries and benefits	172,305,030	73,601,922	245,906,952
Staff Expenses	135,864,535	65,997,251	201,861,786
Travelling and transport	9,465,301	4,694,717	14,160,018
Office expenses (Note 19.4)	26,566,542	14,596,853	41,163,395
Licence fee collection	12,602,095	1,371,105	13,973,110
Training and delegation	626,343	417,562	1,043,905
Legal and professional charges	856,093	547,101	1,403,194
Financial	251,618	345,196	596,814
Depreciation	66,617,791	32,423,754	99,041,545
	551,705,367	272,783,720	824,489,087
Loss before taxation	172,634,606	(218,368,711)	(45,734,105)
Provision for taxation	13,299,158	-	13,299,158
Income brought forward from previous years	470,862,732	(391,781,036)	79,081,696
Income available for appropriation	630,198,180	(610,149,747)	20,048,433

DIRECTOR



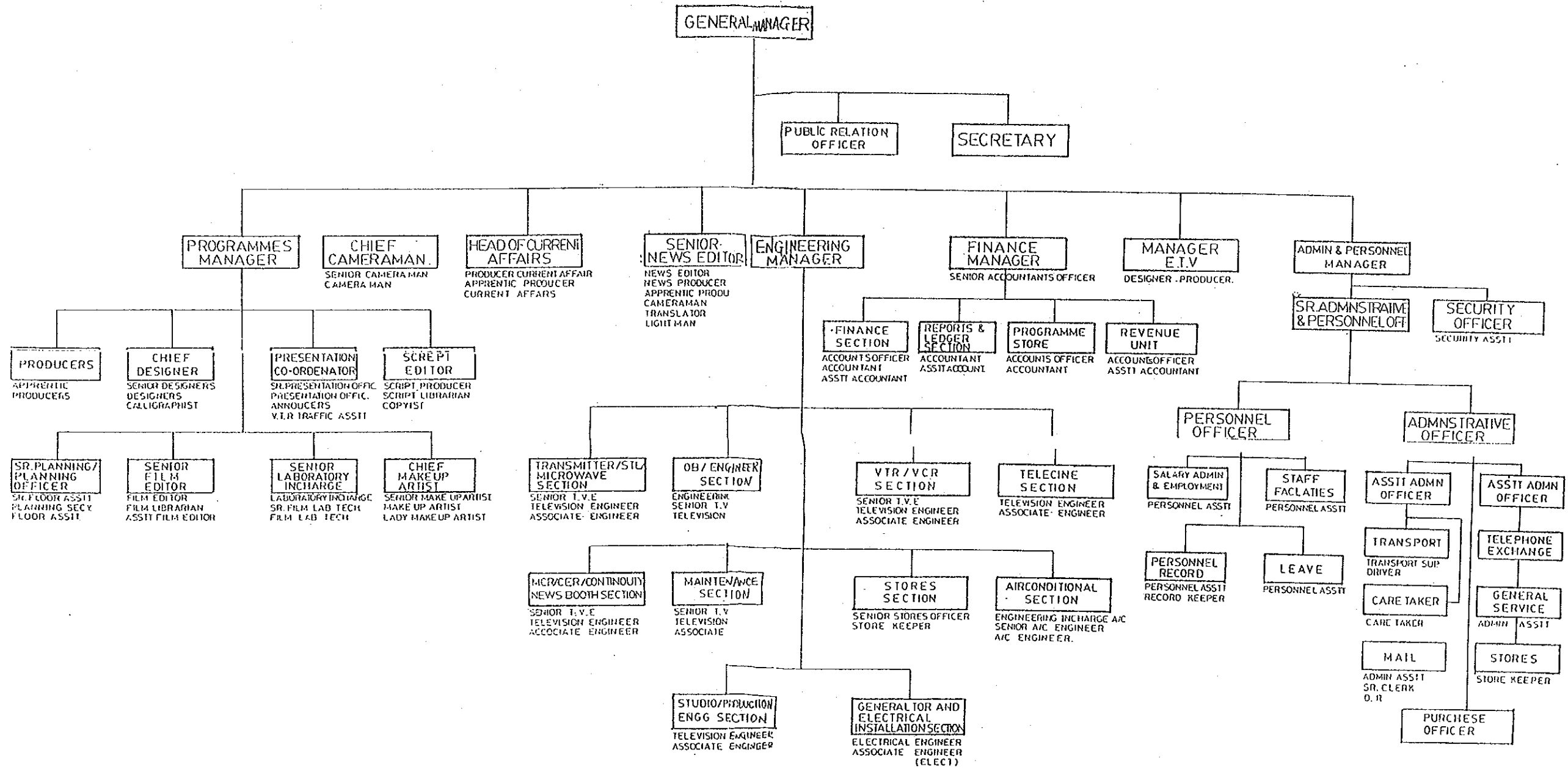
(-) New Cash  
Dep.  
Provision/Reserve

824,489,087  
(99,041,545)  
(72,802,757)  
Muhammad Hanif  
CHIEF EXECUTIVE  
652,644,785





# ORGANISATION CHART OF TELEVISION CENTRES







PAKISTAN TELEVISION CORPORATION LIMITED.  
CLASSIFIED TELECAST FOR THE PERIOD ENDED  
30TH JUNE 1992 (PROVISIONAL)

ANNEXURE-F

PARTICULARS	KARACHI	LAHORE	ISLAMABAD	QUETTA	PESHAWAR	TOTAL
	H-M-S	H-M-S	H-M-S	H-M-S	H-M-S	H-M-S
ANNOUNCEMENT	317-36-31	316-57-16	324-59-35	307-59-49	315-34-14	1583-06-24
COMMERCIAL	175-41-08	188-21-44	154-20-36	161-42-54	175-49-15	855-55-37
DRAMA	331-38-56	326-59-40	325-21-11	315-57-26	322-21-41	1622-18-54
MUSIC	185-08-15	179-22-15	174-02-15	177-26-00	186-20-15	902-19-00
RELIGIOUS	380-03-46	378-15-14	382-08-35	378-36-57	376-13-31	1895-18-03
LOCAL SPORTS	348-20-15	348-47-03	348-01-28	344-25-30	346-09-30	1735-43-46
FFF/SPORTS	722-08-11	717-39-49	720-53-49	723-14-31	722-26-56	3606-23-16
EDUCATIONAL TV	19-19-15	19-29-15	19-29-15	19-19-15	19-19-15	96-56-15
DOCUMENTARY	01-10-30	01-10-30	01-10-30	01-10-30	01-10-30	05-52-30
FEATURES	274-54-15	278-15-52	275-21-30	285-20-15	270-07-30	1383-59-22
STAGE SHOWS	150-31-30	158-18-25	162-16-55	141-40-15	129-21-45	742-08-50
FESTIVALS	4-53-15	4-53-15	4-53-15	04-53-15	04-53-15	24-26-15
LITERARY PROGRAMMES	40-53-45	36-16-15	38-23-45	48-56-15	58-57-45	223-27-45
NEWS	500-15-11	501-49-26	500-53-11	520-46-26	500-51-26	2524-35-40
CURRENT AFFAIRS	197-55-01	205-39-59	204-24-17	197-40-53	201-13-29	1006-53-39
LOCAL PURCHASED PROGRAMS	54-47-45	57-18-30	57-07-00	57-32-45	57-49-30	284-35-30
REPEAT	198-58-01	190-52-56	198-54-46	205-14-31	206-09-01	1000-09-15
CHILDREN	148-44-15	144-43-15	144-33-15	148-28-30	147-46-45	734-16-00
YOUTH	18-40-45	17-53-30	18-52-30	18-35-00	19-36-00	93-37-45
WOMEN	8-53-30	8-51-00	8-51-15	08-53-10	08-51-30	44-20-25
<b>TOTAL</b>	<b>4080-33-00</b>	<b>4081-55-08</b>	<b>4064-58-53</b>	<b>4067-54-07</b>	<b>4071-03-03</b>	<b>20366-24-11</b>

# Pakistan Television Corporation Limited

## PROGRAMME BUDGET ESTIMATE FORM

99

Station PTV-KARACHI  
 Transmission Weeks 40-52, 1991-92

Code K 91167  
 Issue No. 122

Title <u>UROQSA</u>			Proposed Completion Dates <u>OPEN</u>			
Single/Production/Series/Serial			Producers			
Duration: <u>50'</u>			S.H. QASIM JALALI			
No of Episodes: <u>13</u>						
Nature: Colour/B & W/Live/Record/Film						
DIRECT COSTS			INDIRECT COSTS			
ITEM	NOTES	Estimate/Actual Rs.	ITEM	Unit	Estimate/Actual Quantity	Estimate/Actual Quantity
Script Fee		2750/-	Producer	Hr		
Talent Fee		20306/-	Floor Manager	Hr		
Music Comp. Fee		116/-	I.O Cameraman	Hr		
Choreography			Studio Shift's	Hr		
Research Fee			Audio Studio Shift's	Hr		
Recording Rights			Make-up Artist	Hr		
Rehearsal/Conveyance Fee		1936/-	Set Designer	Hr		
Travelling Expenses			Graphics Designer	Hr		
Prizes			Wardrobe Designer	Hr		
Wardrobe		300/-	Wardrobe Assistants	Hr		
Props		500/-	Props Assistant	Hr		
Still Photos		100/-	Calligraphist	Hr		
Raw Film Stock			Set Construction	Hr		
Other Items		500/-	Set Erection	Hr		
ITEM	TYPE	Estimate/Actual Rs.	Telcine	Hr		
Set Materials	SUPER COMPLEX	3000/-	Editing Shift's	Hr		
Make-up Materials		200/-	Eng./Film Shift's	Hr		
Video Tapes	A.R.	471/-	Film Crew (Mute)	Hr		
Video Head			Film Editor	Hr		
Shooting Ratio			O. B. Shift's	Hr		
Minutes of Film Insert		X	O. B. Live	Hr		
Total Direct Cost Per Episode		30269/-	Film Processing	Hr		
Date of Submission			Staff Instruments	Hr		
			Transport (a) Mileage	MI		
			(b) Driver	Hr		
			Total Indirect Cost Per Episode			
			Grand Total Per Episode			30269/-
			Grand Total for Series/Serial			393497/-

*[Signature]*  
PRODUCER
*[Signature]*  
PROGRAMMES MANAGER
*[Signature]*  
GENERAL MANAGER



PTV-K WORKING PAPERSWEEK: 40-52, 1991-92

TITLE OF PROGRAMME : UROOSA  
 NO. OF EPISODES : 13  
 DURATION : 50'

-.....-

SCRIPT FEE:

1 'OS' Script-50' Rs. 2750/-

TALENT FEE:

1 PP role	Rs. 250/-	
2 Main roles	Rs. 4000/-	
6 M.S. roles	Rs. 8100/-	
10. Supp roles	Rs. 6500/-	
12. Minor roles	Rs. 1200/-	
12 Musicians 25' each 4500/-+ by 13	<u>Rs. 346/-</u>	<u>Rs. 20396/-</u>

MUSIC COMPOSITION FEE:

5 'A' Tunes, 1500/- div. by 13 Rs. 116/-

REHEARSAL FEE:

5 days to 2 main roles each	Rs. 220/-	
4 " " 6 M.S. " "	Rs. 528/-	
3 " 10 " 10. Supp " "	Rs. 660/-	
2 " 12 " 12. Minors " "	<u>Rs. 528/-</u>	<u>Rs. 1936/-</u>

WARDROBE :Rs. 300/-PROPS :Rs. 500/-OTHER ITEMS :Rs. 500/-

Hiring of Old Model and New Model Car, Wagon, Jeep required in the whole series and unforeseen hiring charges i.e. Boat, Camels etc. and location expenses.

STILL PHOTOS:Rs. 100/-SET MATERIAL :Rs. 3000/-VIDEO TAPE :Rs. 471/-MAKEUP MATERIAL:Rs. 200/-

TOTAL: 30269/-

3-a(2-1)

(page-1)

4

PAKISTAN TELEVISION CORPORATION LIMITED

SECOND CHANNEL FOR EDUCATION

APPROVED BUDGET FOR THE YEAR 1991-92 (16 MARCH TO 30 JUNE 1992).

<u>Particulars</u>	<u>Amount</u> <u>(Rs.)</u>
<u>EXPENDITURE</u>	
Programme Production Expenses	1,228,600
Purchased Programme Expenses	3,053,000
Operation & Maintenance Expenses	37,237,700
Staff Salaries Expenses	6,380,400
Staff Expenses	2,635,900
Travelling & Transport Expenses	756,900
Office Expenses	2,492,300
Depreciation	24,172,000
Total:-	77,956,800
=====	
<u>I N C O M E</u>	
Advertising Income	20,822,000
Total:-	20,822,000
=====	
Net Profit/(Loss)	( 57,134,800 )
=====	

\*An jun\* @/

3-a(2-1)

(page-2)

PAKISTAN TELEVISION CORPORATION LIMITED  
SECOND CHANNEL FOR EDUCATION

STATION-WISE SUMMARY OF APPROVED BUDGET FOR THE  
YEAR 1991-92 ( 16TH MARCH TO 30TH JUNE, 1992 ).

Sl. No.	Name of Centre/Unit	Amount (Rs.)
1.	ETV-Centre Islamabad.	68,535,700
2.	RBS-Cherat	197,300
3.	RBS-Sakesar	322,900
4.	RBS-Murree	3,910,500
5.	RBS-Shujaabad	196,500
6.	RBS-Noorpur	196,500
7.	RBS-Lakpass	157,500
8.	RBS-Sibi	128,700
9.	RBS-Tando Allah Yar	242,500
10.	RBS-Gilgit	733,600
11.	RBS-Kala Shah Kaku	339,400
12.	RBS-Kalat	104,300
13.	RBS-Skardu	1,023,000
14.	RBS-Gawadar	1,043,000
15.	RBS-Kohlu	412,600
16.	RBS-Khuzdar	412,600
	Total:-	<u>77,956,800</u>

SAJJAD/\*\*\*

3 - a (5)

PTV + ETV (PTV2) HEADQUARTERS

Managing Director  
(Present)

Director PTV2 ETV	1 + 3	Director Finance (Present)	Director Engineering (Present)	Director Admin (Present)
Controller ETV Programmes	1 + 3			

General Manager  
ETV Centre Islamabad 1 + 2 (3)

Programmes Manager	1 + 4 (5)	Engineering Manager	1 + 2 (3)	Finance Manager	1 + 5 (6)	Admin Manager	1 + 4 (5)
Producers	22 + 10 (32)	Engineering Incharge	2 (2)	Programmes Account	8 (8)	Personnel	1 + 15 (16)
Designers	9 + 15 (24)	Engineers	26 (26)	Report Ledger	4 (4)	General Admin & Facilities	1 + 36 (37)
Make-Up	1 + 2 (3)	Technical Helpers	12 (12)	Finance	8 (8)	Security	1 + 14 (15)
Video Library	4 + 6 (10)						
Facility Planning	10 + 11 (21)						
	<u>(95)</u>		<u>(43)</u>		<u>(26)</u>		<u>(73)</u>

253 + 47 at Boosters

total 300

3-b(3)

Annexure 3-b(3-1)

TECHNICAL EQUIPMENT NEEDED

- (a) 3 - D, DVE Generator (PAL) with full picture transition capabilities i.e. maximum combinations on x, y and z axis rotation.

Frame - Store:

- (b) Portable Satellite News Gathering equipment  
(C - BAND)
-

WORKING SHIFTS WEEK DAYS

A. General Administration/Finance

0900 - 1600

B. Support Services

Security

1. 0700 - 1500
2. 1500 - 2300
3. 2300 - 0700

Telephone Operators

1. 0900 - 1600
2. 1500 - 2300

Transport

1. 0900 - 1630
2. 1600 - 2300
3. 2300 - 0900

C. Programmes and Engineering

1. 0900 - 1645
2. 1630 - 2315

Outdoor Broadcast

0930 - 1715

Transmission

1600 - 2300

Night Recording/Editing

2300 - 0600

....

3-c(1)

PAKISTAN TELEVISION CORPORATION LIMITED

SECOND CHANNEL FOR EDUCATION

BUDGETED TRANSMISSION TIME FOR THE YEAR 1992-93

Transmission Days	<u>365 Days</u>
	<u>Hours</u>
Centre's Production for Educational Programmes	304
Adult Education Programmes (Produced by A.I.O.U)	304
<u>Repeat Telecast:</u>	
a) PTV-Entertainment Programmes	608 Hours
b) Khabarnama and News	304 "
c) Current Affair Programmes	<u>152</u> "
	1,064
Imported Programmes	365
Commercials	182
Announcement/Promotional Telops	91
	<hr/>
Total:-	2,310
	=====

Shahid/...

**PTV2**  
**REGULAR TRANSMISSION WEEKLY FIXED POINT CHART**

	SATURDAY	SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY
5.15	Aaj Ki Nasheri-yaat	Aaj Ki Nasheri-yaat	Aaj Ki Nasheri-yaat	Aaj Ki Nasheri-yaat	Aaj Ki Nasheri-yaat	Aaj Ki Nasheri-yaat	Aaj Ki Nasheri-yaat
5.20	Bismillah (ETV-I)	Bismillah (ETV-I)	Bismillah (ETV-I)	Bismillah (ETV-I)	Bismillah (ETV-I)	Bismillah (ETV-I)	Bismillah (ETV-I)
5.30	The World of Audubon	National Geographic Explorer	Rivers + The Stars/The Planets	Compass/Dinosaur	Chemistry + with Edmund Hillary through Himalaya	Sports	Expedition to Animal Kingdom in search of the rare
5.30	Geet Nager (K)M	Alif Aur Noon (L)	Kook (L)M	Kaliyaan (I)	Gajer (K)M	Rim Jhim (L)M	Album (I)
5.55	Arabic News	Arabic News	Arabic News	Arabic News	Arabic News	Arabic News	Arabic News
7.00	The News	The News	The News	The News	The News	The News	The News
7.15	Burlycad + First Aid Saves Life (ETV-I)	Computer (ETV-I)	Reastay (ETV)-K	Hamaari Zamaat (ETV)-L	Mugabil (ETV)-I	Tabiyaat Kay Kamaal (ETV)-I	Nasee Rahain (ETV)-I
7.45	Punjabi Programmes (L)	Balochi Programme (Q)	Pushto Programme (P)	Barahvi Programme (Q)	Hindako Programme (P)	Sindhi Programme (K)	Mayor of Caster-bridge/Great Expectations
8.30	AIOU Courses	AIOU Courses	AIOU Courses	AIOU Courses	AIOU Courses	AIOU Courses	AIOU Courses
9.00	Khabarnama	Khabarnama	Khabarnama	Khabarnama	Khabarnama	Khabarnama	Khabarnama
9.30	Aik Mohaqbat Sau Afsanay (L)D	Talaash/Safar (P)D	Bhanwar (Q)D	Karwaan (K)D	Tansain/Sangchoor (L)D	Waris (L)D	Dhoop Kinarey (K)D
10.20	Zabita-e-Hayaat	Pehnu! Quran	Dave Line Pakistan	Shahraah-e-Taraqqi	Duniya Pakistan	Tafeem-e-Deen	Jaiza
10.45	Kal Ki Nasheri-yaat	Kal Ki Nasheri-yaat	Kal Ki Nasheri-yaat	Kal Ki Nasheri-yaat	Kal Ki Nasheri-yaat	Kal Ki Nasheri-yaat	Kal Ki Nasheri-yaat
10.50	National Anthem & Close Down	National Anthem & Close Down	National Anthem & Close Down	National Anthem & Close Down	National Anthem & Close Down	National Anthem & Close Down	National Anthem & Close Down





JICA